

九「ペルー」移民関係雑纂 三三四

十二年 十三志半片
十三年 十志十片
十四年 十三志
十五年 十八志八片
十六年 二十六志十二片
十七年 三十一志

三三四 十二月七日 中村通商局長ヨリ
宮城県知事及沖縄県知事各宛

ペルー国ローマ耕地行契約移民渡航後契約耕地

三四六

変更ノ件

通合送第一〇三六号

曩ニ森岡移民株式会社ノ募集ニ応シ秘露国「ローマ」耕地行トシテ出発シタル契約移民中渡航後其就働耕地ヲ變更シタル義ニ関シ別紙写ノ通り在里馬斎藤領事ヨリ報告有之候条右ハ貴県下ヨリ渡航セル移民ニ関係致シ居リ候ニ付為御参考此段及通知候也

註 別紙在里馬斎藤領事ヨリ本野外務大臣宛公第七二号写前掲ニ付省略

事項一〇「ブラジル」移民関係雑纂

三三五 一月十六日 石井外務大臣ヨリ
在サンパウロ松村総領事宛

氏名詐称渡伯移民ニ関シ追報ノ件

附屬書

大正五年十二月十二日附川崎福島県知事ヨリ中
村通商局長宛来信辰保収第五〇三七号

通送第三号

客年八月五日付通送第二六号ヲ以テ他人ノ氏名ヲ詐称シ渡伯セル者ニ対スル処分ノ義ニ関シ御通知申進置候処尚ホ今回福島県知事ヨリ別紙写ノ通り本件処分ノ結果追報致シ来リ候ニ付此段申進候也

(附屬書)

辰保収第五〇三七号

大正五年十二月十二日

福島県知事 川崎 卓吉

外務省通商局長 中村巍殿

本年四月十三日付通送第二二八五號ヲ以テ本縣移民佐々木清治外五名ノ氏名詐稱渡伯事件ニ關シ御通牒ノ次第有之候

一〇「ブラジル」移民関係雑纂 三三五

處右ハ取調ノ結果左記ノ通ニ有之候條此段及回答候也

記

福島県双葉郡浪江町字新町十二番地

士族 元浪江町役場書記

一 公文書偽造罪トシテ本年九月二十四日

懲役一年、刑ノ執行猶予、期間三年間

青田 定陳

明治十三年三月十四日生

一本人ハ大正二年八月二日浪江町役場書記在職中同郡浪江町大字牛渡字北荒神四十五番地鈴木愛治郎ガ南米伯刺西爾國行移民トシテ渡航出願ニ際シ愛治郎ノ請求ニ依リ其ノ戸籍謄本ヲ下付スルニ當リ同人ノ懇請ニ應シ同町佐々木寅之助長男清治(明治二十七年七月五日生)ヲ大正二年七月五日愛治郎ト養子縁組ヲ爲シタルガ如ク且ツ清治ノ生年月日ヲ明治三十二年七月五日生ト虚偽ノ記載ヲ爲シタル戸籍謄本ヲ下付シタルモノナリ

三四七

二大正二年八月三日双葉郡浪江町大字權現堂字新町七十八番地末永眞記ノ請求ニ依リ戸籍謄本ヲ下付スルニ當リ同人ノ懇請ニ應シ該謄本ニ同郡幾世橋村紙谷定藏二男勝巳ヲ眞記ノ戸主末永巳代吉ノ二男ナルガ如ク又浪江町佐々木寅之助二男忠(明治二十九年二月廿八日生)ヲ大正二年七月一日ニ眞記ト養子縁組ヲ爲シタルガ如ク且ツ生年月日ヲ明治三十二年二月二十八日生ト虚偽ノ記載ヲ爲シ戸籍謄本ヲ下付シタリ

双葉郡刈野村大字室原字澤廿九番地 平民戸主農

一 外國旅券規則違反ニ依リ本年九月二十四日中止不起訴

宮 口 幸 助

明治七年五月十五日生

妻 カ ネ

明治七年九月廿九日生

長男 兼次郎

明治廿九年二月十三日生

右ハ一家族ヲ構成シ渡航出願シタルモノニシテ戸籍面ハ前記ノ通ナルモ妻カネ長男兼次郎ハ現ニ肩書地ニ居住シ農業ニ従事シ居レリ而シテ現ニ渡航セル者ハ家長幸助ノ外妻カ

ネト詐稱セルハ同村大字室原字澤一番地吉田熊太郎三男萬吉妻マツヨ(明治二十年三月十一日生)長男兼次郎ト詐稱シタルハ同村大字室原字法光内三番地山本里右衛門弟由衛(明治二十八年四月三十日生)ニシテ幸助ガ虚偽ノ家族ヲ構成シテ渡伯シタルモノナリ

双葉郡刈野村大字室原字法光内三番地 戸主平民農

一 外國旅券規則違反ニ依リ本年九月二十四日中止不起訴

山本 里右衛門

明治十年九月二十日生

妻 カ ツ

明治九年九月十五日生

長男 智

明治三十一年三月廿六日生

弟 由 衛

明治二十八年四月三十日生

右者一家族ヲ構成シ渡航ノ出願ヲ爲シタルモノニシテ戸籍面ハ前記ノ通ナルモ家長里右衛門及妻カツハ渡伯シ長男智ハ現ニ肩書地ニ居住シ農業ニ従事中ナリ弟由衛ハ前記ノ通宮口幸助長男兼次郎ト詐稱シテ渡伯シタリ長男智ニハ同村

大字室原字町十五番地石川卯太郎四男義雄(明治三十二年七月六日生)ヲ弟由衛ニハ石川卯太郎四男茂雄(明治二十六年八月十五日生)ヲ詐稱セシメ家長里右衛門ガ虚偽ノ家族ヲ構成シテ渡伯シタルモノナリ

双葉郡刈野村大字立野字林崎六番地 戸主平治長男農

一 外國旅券規則違反ニ依リ本年九月二十四日中止不起訴

本 居 半 治

明治十一年四月二日生

妻 エ イ

明治十四年二月廿二日生

長女 エ ノ

明治三十二年十二月六日生

弟 正 巳

明治二十七年七月五日生

右者一家族ヲ構成シ渡航ノ出願ヲ爲シタルモノナルガ戸籍面ハ前記ノ通ニシテ家長半治及長女エノハ現ニ渡伯中ノ者ナルモ妻エイハ肩書地ニ居住シアリ又弟正巳ハ大正三年三月中北海道札幌ニ移住シタルモノニシテ妻エイト詐稱セルハ同村大字立野字原二百四十三番地斎藤榮吉二女カネヨ

(明治二十七年十一月五日生)弟正巳ト稱セルハ同村大字立野字原百四十一番地林彌作四男巳之助(明治二十六年二月二日生)ニシテ虚偽ノ家族ヲ構成渡伯シタルモノナリ

双葉郡刈野村大字室原字澤一番地 平民戸主熊太郎三男農

一 外國旅券規則違反ニ依リ本年九月二十四日中止不起訴

吉 田 萬 吉

明治十七年六月十一日生

妻 マ ツ ヨ

明治廿二年三月二十一日生

弟 龜 義

明治卅二年十月廿日生

戸籍面ハ前記ノ通ナルモ家長萬吉ハ渡航出願ニ際シ同村大字室原字上谷地二十四番地穴戸幾太郎長女キイ(明治廿八年五月廿八日生)ヲ妻マツヨト詐稱セシメ又妻マツヨヲ前記宮口幸助妻カネト詐稱セシメ右穴戸幾太郎長女キイノ夫徹(明治廿五年三月八日生)ヲ弟龜義ト詐稱シ渡伯シタルモノニシテ龜義ハ目下ノ肩書地ニ居住中ノ者ナリ

東洋移民合資會社

元業務代理人

大正四年四月二十三日死亡セリ

門馬尚經

右者伯國行移民ノ募集ニ際リ配當豫定人員ヲ容易ニ募集スル能ハス依テ移民等ヲ教唆シテ前記ノ如ク渡航願書ニ事實ニ反スル虚偽ノ家族ヲ構成シテ渡伯セシメタルモノナリ以上

三三六 二月七日

中村通商局長ヨリ
川崎福島県知事宛

氏名詐称渡伯ノ移民福島県人加藤竜蔵ニ関スル件

通送第七六七号

本件ニ関シ在サンパウロ松村総領事ヨリ別紙写ノ通り報告有之候ニツキ本件御取調ノ上相当御措置相成度尚爾後嚴重取締方御注意相成度此段申進候也

註 別紙在サンパウロ松村総領事来信大正五年十一月二十四日
附通公第八二号ハ日本外交文書大正五年第一冊三六〇文書
ニテ採録シタルニ付省略セリ

東洋移民合資会社

三三九 二月九日

中村通商局長ヨリ
岡田警視總監、俵北海道庁長官、各府県知事宛

伯國行移民渡航ノ際携帶荷物ニ付注意方ノ件

通合送第七五号

本件ニ関シ別紙写ノ通り在サンパウロ松村総領事ヨリ申越ノ次第有之候ニ付右ノ趣旨伯刺西爾國行移民一般ニ周知方今般東洋、南米、森岡三移民会社へ訓達致置候間右様御承知ノ上監督方可然御取計相成度此段申進候也

註 在サンパウロ松村総領事来信大正五年十一月二十五日附通
公信第八四号ニ付テハ日本外交文書大正五年第一冊三六一
文書参看

三四〇 三月二十六日

在サンパウロ松村総領事ヨリ
本野外務大臣宛

氏名詐称渡伯ノ移民沖繩県人及福岡県人ニ関

シ報告ノ件

通公第三二号

(六月十三日接受)

大正六年三月二十六日

在サンパウロ総領事 松村貞雄(印)

一〇「ブラジル」移民関係雑纂 三三九 三四〇

三三七 二月七日

外務省通商局ヨリ
東洋移民合資会社宛

氏名詐称渡伯ノ移民福島県人加藤竜蔵ニ関スル件

通送第一一八号

本件ニ関シ在サンパウロ松村総領事ヨリ別紙写ノ通り報告有之候ニ付爾後篤ト御注意相成度此段申進候也

註 別紙ハ前掲ニ付省略ス

三三八 二月八日

東洋移民合資会社ヨリ
外務省通商局宛

氏名詐称渡伯ノ移民ニ関シ福島県同会社代理人ニ警告ノ件

大正六年二月八日

(二月九日接受)

麹町区
外務省通商局 御中

拜啓本月七日附ヲ以テ御送下サレ候貴通送第百十八号

「福島県人加藤竜蔵偽名渡伯ニ関スル件」

正ニ拝承仕候本件ニ関シテハ早速福島県当社代理人ニ対シ篤ト警告致シ将来充分注意ヲ怠ラザルベキ様訓戒致置候
右貴翰御請旁御報申上候 敬具

外務大臣法学博士 本野一郎殿

沖繩県人知念次良及福岡県人栗木音吉ノ兩名ハ各他人ノ氏名ヲ詐称シテ渡来シタルモノナルコト今般本人ノ自白ニヨリ判明致候ニ付別紙取調書二通及進達候間可然御処分相成度此段及具申候 敬具

(別紙)

知念次良取調

沖繩県島尻郡玉城村字垣花五七〇

家長 金城 孝八

明治十九年三月九日生

家長ノ妻 カマ

十八年二月六日生

家ノ父 基吉

文久元年三月三日生

家ノ弟 加麻

三十三年一月五日生

從弟 仲村 渠常昌

二十三年二月十八日生

右一家族ハ前移民取扱人竹村殖民商会取扱第一回移民トシ

テ渡来シタル処家長ノ弟加麻ハ其実渡来セズ現ニ本籍地ニ住シ同人ノ從兄知念次良（明治二十七年生、本籍番地不詳）ナル者加麻ノ氏名ヲ詐稱シテ渡来シ居レリ、加麻ノ徵兵適齡近ケルガ為メ今般事実ヲ自白スルニ至リタルモノナリ

栗木音吉取調

福岡県浮羽郡吉井町五百壱番地 戸主初次長男

旅券番号 二三四九 家長 石井源次郎

明治十四年十一月九日生

右妻 スミエ

弟 倉次

長女 トリエ

右一家族ハ前移民取扱人竹村殖民商館取扱第三回移民トシテ渡来シタル処其ノ実家長弟倉次ハ渡来セズ現ニ本籍地ニ住シ同県同郡水分村大字殖木八十七番地戸主儀三郎五男栗木音吉（明治三十年一月二十日生）ナルモノ石井倉次ト詐稱シテ渡来シ居レリ本年徵兵適齡ニ相当セルヲ以テ自白スルノ已ムナキニ至リタルモノナリ

三四一 四月四日

在サンパウロ松村総領事ヨリ
本野外務大臣宛

大阪商船南米航路第一回笠戸丸来着ノ件

附屬書 三月二十四日附カゼタ、デ、ノチシア新聞

論說抄訳伯国ニ於ケル東洋移民問題

通信第四五号

（五月二十六日接受）

大正六年四月四日

在サンパウロ総領事 松村 貞雄（印）

外務大臣法学博士子爵 本野一郎殿

大阪商船会社南米航路第一回船笠戸丸ハ去月廿日当国リオ、デ、ジャネイロ港ニ入港候処日伯間直接航路第一回汽船ノコトトテ頗ル当国人ノ注意ヲ惹起シ同船碇泊後勿々「リオ」ニ於ケル各新聞社々員ノ往訪スル処トナリ船長船員ノ片言隻語ヨリ彼等ノ目撃シタル処迄一々新聞ニ記載サレタルガ此中ニハ船長船舶ノ写真ヲ掲ケタルモノモ有之大體ニ於テ何レモ日本船舶ノ掃除行キ届キ衛生状態ニ於テ間然スル処ナキヨリ本航路ノ開始ニヨリテ日伯間ノ貿易増進サルベキ希望ヲ表白セリ、而シテ此等ノ紀事ハ電報又ハ通信ニヨリテ当市ノ各新聞ニ迄転載セラレ本航路ニ対スル注意ノ尋常一様ナラザルト同時ニ此等紀事ノ及ボス影響ノ渺

リ。

極東ニ於ケル勤勉ニシテ進歩的ナル國民ト我トノ商業交易ニ關シテハ極力之ニ向ツテ賛詞ヲ呈スルノ外何等言フベキナシ。唯タ此交易ニ仍リテ得ル處ノモノハ經濟的進歩發達ノ真個ニ畏ルベキ一大國民ノ商業新血液ヲ我商業界ニ齎スコトナリ。然レトモ本定期航海ノ基礎ヲナス移民問題ニ關シテハ之ト同様ニ言フ可ラザルモノアリ。

二ヶ月間ニ大阪商船會社ハ「サンパウロ」ニ向ケ九百人ヲ搭載スル船舶ヲ新ニ送ルベシ。七月、九月、十一月ニ於テ他ノ船舶ヲ送り結局此等期間ニ移民ノ數五千人ニ達セシムベシ。

此黃色要素ノ横溢ニ就テハ該會社ハ「サンパウロ」州政府ト契約シ十年間ニ五萬ノ日本人ヲ入レザル可ラザルコトトナリ居レリ。

（以上二項事實ニ相違スルモ前記本邦其商店員ノ漫語ニ基ケリ）

然レトモ此東洋移民問題ニ就テハ從來既ニ有効的ニ論議セラレタル處ニシテ其動カス可ラザル結論トシテハ吾人ト全然人種ヲ異ニスルモノノ移民ヲ我國ニ獎勵ス可ラズトイ

ラスコトヲトセシメ候新聞記者ノ發表中我國人ノ歐洲戰爭ニ対スル意嚮乃至其齎ラセシ商品種類並ニ之ニ伴フ余談ニ就テハ暫ラク之ヲ措クモ在リオ本邦商店ニ使用サル当伯国人ニシテ本航路ノ開始ニ仍リ当国ニ今後到来スベキ日本移民ノ増加スベキコトヲ得意氣ニ語リタル吹聴ハサナキダニ神經質ノ当国一部ノ人士ヲ刺撃シ排日ノ調ヲ帯ビタル新聞紀事其後ニ至リ一二發表サレタルハ甚タ遺憾ノ次第ナルモ此種ノ議論ハ從來当国人ノ心裡ニ潜在シ時ニ新聞記者ニヨリテ露骨ニ發表セラルルモノニ有之我方ニ取り大ニ参考ト相成候ニ付今笠戸丸渡来ニ關シ惡声ヲ放テルモノノ一例トシテ在リオ市 *Gazeta de Noticia* ノ論說別紙抄訳報告

申進候間御査閱相成度此段申進候 敬具

（附屬書）

伯國ニ於ケル東洋移民問題

（大正六年三月二十四日「リオ」市「ガゼタ、デ、ノチシア」新聞掲載）

日本航海會社大阪商船會社第一回汽船ノ到着ニ仍リ吾人ハ現在最モ趣味アル二個ノ題目ヲ有ス。日本移民問題及ビ亜細亞大帝國ト我國トノ間ニ於ケル通商交易ノ問題はナ

フニ在リ。

本移民誘入主張者ハ本問題ノ基礎ヲ經濟ニ置キテ立論ス、曰ク東洋労働者ハ強健ニシテ抵抗力ニ富ミ、執着力アリ、且ツ僅少ノ賃銀ニ安ンズ、彼等ヲ使用スル耕作ハ唯タ儲ルアルノミ。

右ハ本問題ヲ論議スルニ際シ其理由ノ一ト爲スコトヲ得ベシ。然レトモ我國ニ於ケル移民問題ハ單ニ經濟上ノ問題ニ非ズシテ同時ニ又タ最も重要ニシテ特ニ考量ヲ要スベキ人種問題ナリ。則チ伯國諸州ニ於テ外國分子ヲ歡迎スルハ直接ニハ農業労働ニ使用シ經濟上富ノ要素トナサンガ爲メタルト共ニ間接ニハ我國人種混同ノ要素タラシメ以テ民種改善ニ利用スルニアルコトヲ考量セザル可ラザルナリ。

何人モ知ル如ク東洋移民ハ吾人ノ風俗習慣ニ適合セズ吾人ト同化スベキ素質ヲ有セズ、随テ孤立割據シ遂ニハ介甲ヲ被ル有力ナル殖民地ノ状態ヲ呈出スルニ至ルベキナリ。

如此一種寄生的存在ハ將來ニ至リ重大ナル問題並ニ政治的困難ヲ惹起スベシ。北米合衆國ニ於ケル加州桑港問題ハ其適例ニシテ同地ニ於ケル同化サレザル有力ナル日本の要素ハ動モスレバ日米開戦ノ端緒ヲ開カントスル位置ニアル

ニ非ズヤ。

吾人ハ大阪商船會社ニ仍リテ商業交易ノ行ハルルニ至リタルヲ祝スルト同時ニ真率ニ伯國移民ノ重要題目ノ解決ニ面倒伴フニ至リタルヲ悲シムモノナリ。

三四二 四月二十日

在サンパウロ松村總領事ヨリ
本野外務大臣宛

伯國在留本邦移民ノ不良者取締方ニ關シ稟請

ノ件

通信第五三三號

(六月十四日接受)

大正六年四月二十日

在サンパウロ總領事 松村 貞雄 (印)

外務大臣法学博士子爵 本野一郎殿

當國ニ於ケル本邦移民ノ開始以來既二十年、目下在留者ノ數モ約一万七千余ニ上リ居ルヲ以テ其間ニ浮浪無頼ノ徒相出デ到處詐偽脅迫其他ノ不正手段ヲ講シテ善良ナル本邦移民乃至當國正業者ニ對シテ妨害ヲ与ヘ又ハ公ノ秩序妨害及風俗壞乱ノ行為アルモノアルハ近次屢次被害者並ニ一般善良ナル移民ノ訴出ニ仍リ承知スル処ニ有之候而シテ其行為ノ特ニ當國法律ニ触ルルモノハ直ニ処罰セラルルハ論ヲ待

タザル処ニ有之候得共當國官憲ハ實際非常ノ場合ニ非ル限リ手ヲ下スコトナク而シテ彼等ノ害毒ハ寧ロ本邦人側ニ對シテ多ク行ハルルヲ以テ自然此等官憲ノ注意ヲ一々惹起シ難キノミナラズ且ツ彼等ノ奸黠ナル居所ヲ転々シ巧ニ法網ヲ潜リテ其罪ヲ免ルルヲ以テ結局實際ニ於テ最も損害迷惑ヲ蒙ルモノハ善良ナル本邦移民ニ有之今日ノ俚ニ之ヲ拋棄セバ独リ其所在地方ノ安寧ヲ妨害シ又ハ風俗ヲ壞乱スルノミナラズ之ガ爲メニ自然本邦移民ノ声価ヲ落シ將來ノ禍ヲ貽スニ至ル事ト存候間今日ニ於テ其奸黠甚シキ不良無頼ノ徒ヲ取締ル必要ヲ相認メ候從來当地ノ官憲ニ於テハ領事ノ請求ニ仍リ何時ニテモ是等不正ノ徒ヲ「サントス」港又ハ「リオ、デ、ジャネイロ」港船舶迄送届ケ場合ニ仍リテハ汽船出発當時迄港灣ニ於テ拘留シ置クコト有之、之ニ関シテハ法規ノ存在スルノミナラズ實際ノ先例モ有之候尤モ送致費用ニ関シテハ依頼者ノ方ニ於テ負担スルコトニ相成居候故ニ此官憲ノ權力ヲ利用シ不正ノ輩ヲ一旦該港ニ送致シタル上ニ該港寄航ノ日本船舶ノ船長ニ更ニ其者ノ送還ヲ命ズルトキハ事實ニ於テ在留禁止ト同一ノ効果ヲ生シ初メテ取締ノ目的ヲ相達スルコトヲ得ベシト思料致候右ハ領事官

執務規則第五條第二項ニ仍リ当然領事ノ權限ニ属シ本省ヘ伺出デ其指令ヲ待タズシテ決行差支ナキモノト存候得共右措置ノ結果トシテ生ズル費用問題ニ関シテハ船長ニ送還ヲ命ジタル場合ニ於テハ其送還費用ハ船員法第二十三條及明治三十三年十二月勅令第四百十五號ノ適用ヲ受クベキ義ト存候得共當國內ニ於テ生シタル送致費用ニ関シテハ其者ノ負担トスルヲ以テ当然ノ順序ト信ズルモ其者ニ於テ實際負担ノ資力ナク又タ親族其他ノ關係者ナキ場合ニ於テハ結局當館ニ於テ一時立替ヘ之ヲ仕払フニ非レバ何等実行ヲ得ザル事ト可相成モ當館ニ於テハ其立替ニ応ズベキ資金ノ出処無之在外国難貸与金一時繰替支弁ノ制ハ本件ノ場合ニ適合難致モノト存候間差当リ之ニ倣ヒ當館ニ於テ現金前渡ヲ受ケタル出納官吏ハ其現金ヲ以テ最初前渡ヲ受ケタル目的以外右不良者送致費用ニ一時繰替支弁スルコトヲ得ル事ニ致スベキカ、又ハ當館臨時支出費トシテ右ノ費用ニ充當スベキ特別ノ支出アルカ何分ノ御詮議相成候様致度將タ又タ實際問題トシテハ當國警察規則ニ於テ右ノ不良者ハ二十四時間以上拘禁スルコトヲ得ザルコトニ相成居候ニ付結局「サントス」港寄航ノ日本郵船會社ノ船長ニ命令ヲ發スルコト

ト可相成候然ルニ当国寄航ノ郵船会社船舶ハ移民ヲ搭載シ
来ルヲ以テ往航ニハ無論客室ノ設備ナキ船舶ト言フ可ラザ
ルモ復航ニ際シテハ純然タル荷物船ト相成リ得ル場合ヲ想
像シ得ベキヲ以テ曩ニ明治四十二年一月廿七日付外務大臣
ヨリ在孟買帝國領事宛回訓(明治四十三年三月編纂領事官
執務參考書第七輯第二類一、参照)ノ次第モ有之候ニ付
予メ其誤解ヲ避クル為メニ適當ノ御措置相成度此段及稟請
候 敬具

三三三 四月三十日 在サンパウロ松村総領事ヨリ
本野外務大臣宛

サンパウロ州西北鉄道及マツトグロス州イタ
プラ、コルムバ鉄道沿線ノ在留邦人状況視察
ノ件

附屬書 右視察報告書

通公第五七号 (六月二十日接受)

大正六年四月三十日

在サンパウロ総領事 松村 貞雄 (印)

外務大臣法学博士子爵 本野一郎殿

巡視報告提出之件

サンパウロ州西北鉄道並ニ「マツトグロス」州「イタプ
ラ、コルムバ」鉄道沿線在留本邦人状況巡視報告別紙一通
差進候間御閱覽之榮ヲ得度此段申進候 敬具

(附屬書)

西北鉄道及「イタプラ、コルンバ」鐵道沿線在留本邦
人状況視察報告

「サンパウロ」州西北鐵道ハ「パウリスト」及「ソロカバ
ナ」兩鐵道ノ一端相會合セル當州中部ノ一都市「パウ
ル」ヲ基點トシ「イタプラ、コルンバ」線ト「イタプラ」
驛ニ於テ接續セル全線四百卅七基米ノ鐵道ニシテ當州面積
ノ約五分ノ二ヲ占ムル西部大森林地帯ノ中央ヲ貫通ス其沿
線各地ハ當州中最モ肥沃膏腴ノ部分ニ屬スルモ交通ノ便ヲ
欠キタル爲メ近年ニ至ル迄唯原始的土人ノ足跡ヲ印スルニ
過キザリシガ數年前本鐵道ノ竣工ト共ニ政府ニ於テモ森林
地帯ノ測量ニ着手シ一方先覺者ガ珈琲樹ヲ試作シタル結果
其發育ノ偉大ナル到底舊作地方ノ比ニアラザルヲ確メタル
爲メ爾來本沿線ニ於ケル土地熱勃興シ一時鐵道乗客ノ大部
分ハ土地賣買者ヲ以テ占メラルル有様ナリシト云フ一昨年
ニ至リ「グアタパラ」耕地ニ於ケル本邦移民約百家族相圖

リテ本鐵道百廿五基米「ブレジデント、ペンナ」驛ヲ北ニ
距ル約四里ノ地點ニ於テ古代ノ大森林地四千町歩ヲ購買ス
ル契約ヲナシ爾來之レガ開墾ニ從事スルアリ同驛ヲ去ルコ
ト更ラニ廿六基米「アルブケルケ、リンス」驛附近ニハ熊
本縣人ヨル成ル小殖民地開設ノ舉アリ尚ホ更ラニ同驛ヲ去
ルコト百十基米「ビリグイ」驛ノ南ニ於テ約十萬町歩ノ森
林地ヲ有スル英國殖民會社アリ本邦人書記ヲ置キ我移民ノ
入殖ヲ勧誘スル所アリ既ニ十町歩乃至三十町歩ノ就地契約
ヲナセルモノ百五十家族内已ニ就地セルモノ七十家族ニ及
ヘル有様ニテ全線ニ涉リテ本邦人ノ土地ヲ購入セルモノ三
百家族ヲ越エ尚ホ續々就地者ヲ出スヘキ趨勢ナリ

次ニ右西北鐵道終點「イタプラ」ヲ基點トシ「パラナ」河
ヲ越テ(目下小蒸汽船ニテ連絡シ居レリ)「マツトグロス」州ノ南端ヲ横貫シ
「ポリヴキア」國境ニ達スル「イタプラ、コルンバ」鐵道
ハ延長八百三十六基米ニシテ目下終點「ポルト、エスベラ
ンサ」驛ヨリ「パラグアイ」河ヲ利用シテ上ハ「イタプ
ラ」及州都「クヤバ」ニ到リ下ニ「パラグアイ」國ノ首府
「アッソンプソン」ヲ經テ亜爾然丁國首府「ブエノスアイ
レス」市ニ達スル河船航路ノ便アリ本鐵道ハ將來「ポリヴ

キア」鐵道トノ接續ニヨリ直チニ太平洋岸ニ達スル計畫ナ
リ本鐵道建設ノ當時當州農園ヲ脱走セル本邦移民ノ多數其
工夫タリ該鐵道ハ工夫ノ逃亡ヲ防ク爲メ賃銀三ヶ月分ノ内
二ヶ月分ヲ一時ニ支払ヒ殘一ヶ月分ヲ保管スル制度ナル爲
メ工夫ノ居付善ク且ツ一時ニ纏リタル金額ヲ懷ニスルト共
ニ地方僻遠ニシテ物資ノ乏シキ爲メ自然蓄財スルノ已ムヲ
得サル有様ナリシガ布設終了ト共ニ其大部分ハ解雇セラレ
各其欲スル地方ニ土着シ農業又ハ商業ヲ營ムコトトナレリ
現時全線ニ涉リ保線係及工場職工タルモノ尚ホ二百餘名ヲ
算ス今回ノ巡視旅行ハ僅カニ二週間ノ豫定ナリシ上ニ「イ
タプラ、コルンバ」線ハ直通列車一週一回ノ外隔日ニ昼行
列車ノ運轉スルアルモ必スシモ終點迄連絡セズ西北鐵道沿
線ニアリテモ邦人所在地ハ何レモ停車場ヲ去ル三里乃至五
里ノ地ニアリ騎馬ノ往復ノミニテ五六時間ヲ要スル有様ナ
ル爲メ各地ニ就キ詳細ナル視察ヲ遂クル餘裕ナク不得已一
ヶ所一日ノ割合ヲ以テ西北鐵道沿線ニアリテハ「ブレジデ
ント、ペンナ」及「ビリグイ」ノ兩地、「イタプラ、コル
ンバ」鐵道沿線ニアリテハ「カンボ、グランデ」及「アキ
ダウアナ」兩驛及其附近ノミヲ巡視セリ

第一、西北鐵道沿線

(甲)「ブレジデント、ペンナ」驛附近 「ブレジデント、ペンナ」驛ハ基點「バウルー」市ヲ距ル百廿五基米第十番目ノ停車場ナリ同驛ヲ距ル北方約四里ノ地ニ通稱平野殖民地ナルモノアリ一昨年四千町歩ニ涉リ老樹森々タル密林地ニ於テ一町步約拾圓ノ割ヲ以テ一地區ヲ購入スルノ契約ヲナシ本邦移民約百家族共同シテ開墾スルコトナリ先ツ七十家族計リ同地ニ移住スルコトナレリ同所ハ附近ニ於テ最膏腴ノ地ニ屬シ珈琲ハ勿論總テノ農作物ニ適スル處ナルモ開墾ノ當初深キ注意ヲ拂ハザレハ往々風土病ノ害ヲ受クルコトアリ本邦就地者ハ此ノ如キ新殖民地開發ノ事ニ通セザル爲メ最初先ツ米作ニ適スル低湿ノ地ヲ開キテ居住地トナセルヨリ忽チニシテ全員風土熱ノ侵ス所トナリ農作ハ全然不能トナリタル上ニ持參セル多少ノ貯モ醫藥食餌ノ料ニ蕩盡シ遂ニ不幸ニシテ五十餘名ノ死者ヲ出スノ悲惨事ヲ現出セリ其後流行期ヲ過キテ殘者何レモ全快シ開墾大ニ進捗セルヲ以テ各其住居ヲ高爽開潤ノ地ニ移シ尔來漸ク病跡ヲ絶ツヲ得タルモ一年ノ計画ヲ空シク病蓐ニ過シタル爲メ資財頗ル不如意ニシテ事業ノ進捗思フニ委セズ再ヒ出テ

テ珈琲園ニ入り資金ノ調達ヲ圖ルモノアルニ至レルモ本年ハ米其他雜穀類ノ收穫モ少ナカラザルヲ以テ漸次順調ノ進歩ヲナスヲ得ベシ目下同所ニ踏止リテ開發ニ從事セルハ監督者平野運平外四十家族ナリ尚ホ土地ヲ購入シタル俛ニテ未タ就地セサルモノモ本年農季ノ終ヨリ來住スヘキ筈ナリ同所附近ハ當國大耕主ノ所有地多ク將來有望ナル地方ニ付順適ニ開發ヲ遂行スルヲ得ハ相當ノ成功ヲ贏ルコト確實ナリト信セラル

(乙)「ビリグイ」殖民地 「ビリグイ」驛ハ「バウルー」ヲ距ル二百六十基米前記「ブレジデント、ペンナ」驛ヨリ七番目ノ停車場ナリ同驛ノ西方ニ於テ約十萬町歩ノ密林地ヲ有シ殖民事業ニ從事セル英國拓殖會社アリ三四年前ヨリ同地方ノ開發ヲ始メ停車場ヨリ三里乃至五里ノ地方ニ於テ特ニ二ヶ所ノ日本人專屬ノ殖民地ヲ設ケ昨年來本邦人ノ書記ヲ置キテ日本移民ノ入地ヲ勧誘セシガ昨年末ニ至リテ入地契約者ノ數已ニ百五十家族ニ及ヒ現時就地農業ニ從事セルモノ七十家族アリ同所ハ地代ヲ年賦拂トシ二町四反歩ニ付上地百「ミル」並地五十「ミル」入地者ニ對シテハ同驛迄無賃乗車券及荷物券ヲ支給シ居レリ地味ハ前記「ブレジ

デント、ペンナ」附近ト同様頗ル膏腴ニシテ隨テ開墾ノ當初ハ風土熱ニ侵サルル恐レアリ會社側ニハ已ニ相當ノ經驗アリ且ツ他ニ外國殖民者ノ先住者モ少ナカラザルヲ以テ各自適當ノ注意ヲナシタルモノト見エ大部分ハ逸早く高爽ノ地點ニ住所ヲ構ヘ井戸ヲ穿チテ飲料水ヲ得ルコトナセル爲メ幸ニ今日迄健全ナルモ低湿ノ地ニ住居セシ者ノ内十名計病死者ヲ生セシハ甚タ遺憾ナリ尚ホ會社支配人ハ大ニ本邦人ヲ愛シ地代ノ拂込ナドモ特別ノ寛典ヲ施シ呉ルハ勿論喜ンデ資金ノ貸與等ヲモナス爲メ開發事業モ頗ル順調ニ進捗シ各人共ニ非常ニ滿悦セルモノノ如ク見受ケタリ目下尚ホ創業ノ際トテ未タ廣ク珈琲ノ植付ヲナスニ至ラズ開墾ノ側ヲ専ラ収利ノ速カナル米豆麥ノ類ヲ耕作シ居レリ本年ハ一般ニ豊作ナリシヲ以テ何レモ相當ノ利益ヲ収メタルモノノ如シ今ヨリ四五年ノ後ニ至ラバ同所ノ殖民地ハ附近ニ於ケル最モ繁榮ナル農村タルニ至ルベシ

第二、「イタプラ、コルンバ」鐵道沿線

本鐵道沿線ニハ現時本邦人ノ在留スルモノ約四百七十名其大部分ハ當州ヨリ移轉セル移民ニシテ秘露、智利及亜尔然丁ヨリ轉入セル獨身移民ヲ交ユ何レモ最モ多キハ沖繩縣出

身者ナリトス前記四百七十名ノ内二百餘名ハ鐵道工夫トシテ各地ニ散在シ「カンボグランデ」及其附近ニ百八十一名「アキダウアナ」ニ八十名「ミランダ」ニ十名ノ在留者アリ

(甲)「カンボグランデ」及其附近 當地ノ鐵道開通以後ノ新開地ナルモ已ニ人口三千ヲ有シ内本邦人僅カニ百八十一名ニ過キザルモ本邦人ハ何レモ中等以上ノ階級ニ屬シ現ニ「ホテル」二、農園廿七、雜貨商二、パン製造業一、大工職二アリ其内畑地又ハ宅地ヲ有スルモノ十三名、市中ニ家屋ヲ所有スルモノ七名アリ女子ハ全部洗濯業ヲ營ミ一人平均月収百五十「ミル」位ヲ得ト云フ本邦人ハ物價高値ナル同地方ニアリテ生活上缺クベカラサル資料ノ供給者タル地位ヲ有シ居リ其収益モ亦タ意外ノ多額ニ達スル模様ナリ隨テ市長初メ一般市民ハ非常ニ本邦人ヲ德トシ其厚遇ノ度他州ニ於テ到底見ルヲ得サル有様ナリ殊ニ沖繩縣人ハ他ノ邦人トノ間ニ言語ノ關係円滑ナラザル爲メ専ラ葡語ヲ使用スルノ傾アリ同地方ハ沖繩縣人主トシテ其牛耳ヲ執ル有様ナルヲ以テ自然本邦人全體其風ニ化シ各自ノ間成ベク葡語ヲ用ヒ外人ノ感情モ亦タ隨テ頗ル良好ナルカ如シ元來本鐵道

沿線ハ到處砂地ノ草野多クシテ牧場ニ適シ近年北米人ノ牧場經營ヲナスモノ數ヶ所アルモ穀物野菜類ノ栽培ニ適當ナル土地甚タ稀ナリ獨リ「カンボグランデ」附近ノミ僅カニ農作ニ適スル所アリ既ニ何レモ本邦人ノ占有ニ屬シ野菜及雜穀等ヲ作り同驛ハ勿論沿線各地ニ向ケ供給シ居レリ

(乙)「アキダウアナ」及其附近 同所ハ前記「カンボグランデ」ヲ小ニシタルモノニシテ人口千五百「カンボグランデ」ノ海拔六百五十九米突ニ對シ僅ニ百六十八米突ニ過キザルヲ以テ前者ニ比シ温度遙カニ高シ目下本邦人ノ在留スルモノ僅カニ八十名其職業ハ農園ヲ主トシ鐵道工夫及職工等數名アリ同地方ハ概シテ瘠地ニシテ農作ニ堪ヘズ邦人ニヨリテ漸ク多少ノ野菜類ヲ得ルモ到底同地ノ需要ヲ充タス能ハズ邦人ハ目下何レモ借地シテ經營セルモ物價「カンボグランデ」ニ比シ更ラニ高値ナルヲ以テ相當ノ利潤ヲ獲ツツアリ同地ニハ鐵道工場アリ一時本邦人ノ木工鐵工等ヲ使用シタルコトアルモ先年一名ノ不良者アリタル爲メ其以來本邦人ヲ嫌忌シテ一切之ヲ使用セズ一般本邦人ノ迷惑尠ナカラズ尠來不良者ノ來住ニ對シ大ニ警戒ヲ加ヘ居レリト云フ

要之西北鐵道沿線ハ純然タル農業地ニシテ特ニ珈琲栽培ニ適スルヲ以テ今後一般ノ開發進捗スルト共ニ在留邦人ノ發展次第ニ顯著ナルニ至ルヘク又「イタブラ、コロンバ」沿線ハ大體ニ於テ農業ニ不適當ナルモ各地方ノ繁榮ニ伴ヒ邦人ノ經營セル農業モ今日以上尚ホ多少ノ發展ヲ遂クルヲ得ベク若シ商業又ハ工業方面ニ地歩ヲ占ムルヲ得ハ尚ホ多大ノ發展ヲナスノ餘地アリ唯タ遺憾ナルハ同州ガ資本ヲ要スル牧畜ニ最モ適スル土地柄ナル爲メ現在ノ邦人ニテハ「サンパウロ」州ニ比シ大ナル成功ヲ贏ルコト困難ナルベシト觀察セラルルノ一事ナリ

三四四 五月八日 在サンパウロ松村總領事ヨリ
本野外務大臣宛

氏名詐称渡伯ノ移民熊本県人ニ関シ報告ノ件

通公第六一号 (六月二十日接受)

大正六年五月八日

在サンパウロ總領事 松村 貞雄 (印)

外務大臣法学博士子爵 本野一郎殿

氏名詐称渡來者熊本県人古庄ハツエニ関スル件

熊本県菊池郡平真城村大字平川二三二四

旅券番号 二三〇一一 家長 古庄 秋吉

妻 ツヨ

長女 チズエ

二女 タカエ

長男 勉

戸主ナジユ 私生子 古庄 サメ

明治二十八年七月十日生

右家族ハ明治四十五年四月前竹村移民商館取扱第三回移民トシテ渡來シタル処其實「サメ」ハ渡來セズ同村古庄荒熊長女「ハツエ」ナル者「サメ」ノ名ヲ騙リ渡來シタル趣ニテ今回「ハツエ」婚姻ヲ届出候然ルニ如上ノ事情ニヨリ其偲受理難致ハ勿論他ニ前例モ有之相當ノ処分可有之モノト被認候ニ付事實御取調ノ上可然御措置相成候様致度此段申進候

敬具

三四五 六月五日 在伯国野田臨時代理公使ヨリ
本野外務大臣宛

伯国聯邦政府ノ恩典ヲ利用シテ本邦農民ノ同

国移住奨励方ニ関シ稟申ノ件

通公第四五号 (七月十九日接受)

大正六年六月五日

在伯臨時代理公使 野田 良治 (印)

外務大臣法学博士子爵 本野一郎殿

從來本邦農民ノ伯国移住ハサンパウロ州珈琲園行出稼労働者ヲ主トシ最近漸ク伯刺西爾殖産会社經營ニ係ル同州イグワペ植民地行永住農民渡航ノ途開カルルニ至リ候ヘ共何分両者共ニサンパウロ州政府ノ補助金ニ依頼スルノ結果其誘入人員及年數ヲ制限セラレ居ルノミナラズ特ニ移住者ノ家族構成上ニ極メテ究屈ナル条件ヲ附セラレ居ルタメ渡伯希望者ニシテ之ニ合格スルハ僅々十中三四ニ過ギズ募集上多大ノ困難アルガ上ニ一旦約束丈ケノ人數ヲ送入シ且協定期限満了シタル曉若シ州政府ニ於テ財政其他ノ理由ニ基キ補助金支給ヲ廃止スルニ至ラバ(戰後歐洲移住民自費ニテ続々渡來スルニ至ラバ無論補助金支給ヲ廃スベシトハ夙ニ当路者ノ明言セル所ニ有之候)本邦移植民渡伯ノ途忽チ杜絶スルコト既ニ去ル大正三年サンパウロ州政府及本邦移民取扱人間移民誘入契約解除ニヨリ遂ニ滿二ヶ年間本邦移民ノ誘入ヲ不可能ナラシメタル实例ニ徴シ最モ明白ニ有之候ニ付此際遠ク将来ヲ慮リ仮令今後何時如何ナル理由ヲ以テ補

助金ノ支給全廃セラルトモ本邦移住民ハ何等之ニ左右セラルコトナク苟クモ本邦ノ労働供給力ト伯国ニ於ケル需要ノ許ス限り依然トシテ多数且不断ニ渡航シ得ラルル方法ヲ講究シ予メ新途ヲ開始シ置クコト最モ緊要ト思考致シ候而シテ之ガ方法トシテハ

(一)最近大阪商船株式会社ガ開始シタル本邦及南米東海岸間新定期航路ニ対シ我が政府ヨリ一定ノ補助金ヲ下附シ其ノ代リ本邦移住民ノ渡伯船賃ヲ百円内外ニ制限スルコト

(二)本邦資本家ヲ奨励シテ大面積ノ未墾地及耕地ヲ購入シ之ガ分売及農場経営ヲ為サシムルコト

(三)上記二項ノ経営ノ基礎タルベキ自由移住民ノ渡航ヲ奨励スルコト(本邦資本家ガ事業経営ノ為メ誘入セントスル自由移住民ノ渡航ニ関シ之ヲ容易ナラシムル我が政府ノ保障ナキニ於テハ彼等ハ投資ニ躊躇スベキハ勿論ノ義ニ可有之候)

等多様有之候ヘ共小官ハ差当リ最モ安全ニシテ且実行最モ容易ナル方法トシテ上記大阪商船会社ノ毎三ヶ月一回ノ定期船ニ便乗シテ渡伯シ当国聯邦政府ガ現行移民法規ニ從

ノ五ヶ所ニ過ギザルモ就中パラナ州ニ於ケル三ヶ所ハ地域大ニシテ現ニ約二千家族ヲ容ルル余地アリトノ事ニ候ヘバ本邦農民ハ此等五ヶ所ノ内ニテ随意ニ選択スルコトヲ得ベク且此等二州ハ順次ニサンパウロ州ノ南方ニ隣リ温帯圈内ニ位スルヲ以テ氣候風土ノ本邦人移住ニ適スルコトハ今更喋々スルヲ要セザル所ニ有之候

而シテ此等ノ官設移住地ニ入り独立農民トシテ開墾耕作ニ従事セントスル希望者ニ対シ内外人ノ別ナク又人種ノ如何ヲ問ハズ一樣ニ聯邦政府ガ現ニ与ヘツツアル所ノ特典ハ

一、上陸港ヨリ目的ノ移住地ニ最モ近キ停車場マデ手荷物ト併セテ運賃ヲ官給スルコト

二、停車場ヨリ移住地マデノ運賃モ無料タルコト

三、移住地到着ノ際初メ数日間ハ無料宿泊ヲ許スコト

四、二十五町歩乃至五十町歩ノ地区ヲ地味ノ優劣ニヨリ一町歩ニ付八「ミルレイス」乃至二十「ミルレイス」(昨今ノ相場ニテ凡我が四円四十錢乃至拾壹円)

ノ代金ニテ年賦又ハ一時払ヲ以テ払下グルコト

新ニ外国ヨリ渡来シタリ移住民ニ対シテハ從來ノ如ク出発港ヨリ伯国港マデノ三等船賃ヲ還付セザル代

ヒテ一般内外国人ニ対シテ現ニ附与シツツアル恩典ヲ利用シテ聯邦政府直営ノ新開墾地ニ定住スベキ本邦農民ノ渡航ヲ奨励セラレンコトヲ献策致シ候

最近小官ガ聯邦土地植民局長ヨリ直接ニ聞取リタル所ニ拠レバ伯国聯邦政府経営ノ移住地(「スクレオ、コロニアル」即チ植民地)ハ「エスビーリト、サント」「リオデジャネイロ」「サンパウロ」「パラナ」及「サンタカタリナ」ノ五州ニ合計二十ヶ所アリタルモ内十ヶ所ハ既ニ相当ノ発達ヲ遂ゲタルヲ以テ政府ノ直管ヲ離レテ町村ニ編入セラレ残り十ヶ所ノ内五ヶ所ハ殆ド満員ニ近ク払下ゲ得ベキ残存地区僅少ナルト共ニ其ノ地味モ良好ナラザルヲ以テ今後尚ホ多数ノ植民ヲ就地セシメ得ベキモノハ

パラナ州 アプカラナ (Apucarana)

同 クルーズ、マシヤド (Cruz Machado)

同 セナドール、コルレーア

(Senador Corrêa)

サンタカタリナ州 アニタポリス (Anitapolis)

同 エステゼス、ジュニオール

(Esteves Junior)

リニ該船賃額ヲ払下土地代価ニ振替ヘ若シ船賃ノ方土地代価ヨリ高額ナルトキハ其ノ差ハ種子農具又ハ農業器械ヲ以テ之ヲ移住民ニ下附スルコト

五、小家屋又ハ仮小屋ヲ供給セラルルコト、若シ移住民ガ自費ニテ家屋ヲ建築セントスル場合ニハ其ノ落成マデ宿泊ノ便宜ヲ与フルコト

六、最初ノ播種及植附ニ要スル種苗ヲ無代ニテ附与スルコト

七、最初一年間医療手当及医薬ヲ無料ニテ供給スルコト

八、郵便電信ノ發送ニ関シテ便宜ヲ供与スルコト

九、移住民ノ子女ハ無償ニテ小学教育ヲ施スコト

十、農業上必要ナル報導ヲ与ヘ且移住民ノ權利義務ニ関シテ教示スルコト

等ニシテ此等移住地ニ入ルコトヲ許サルル資格ハ夫婦者以上ナレバ子女ノ有無ハ之ヲ問ハザルヲ以テサンパウロ州珈琲園労働者ガ十二歳以上五十歳以下ノ者少クモ三名ヨリ成ル家族タラザルベカラズトイフニ比スレバ此方ハ極メテ簡便ニ渡航スルコトヲ得ベク即チ右珈琲園行ヲ希望シタルニ拘ラズ家族構成条件ニ適合セザリシ為メ募集ニ応ズルコト

能ハザリシ夫婦者及夫婦ニシテ子女アルモ其ノ年齢十二歳ニ達セザルタメ不合格トナリタル者ハ勿論從來独身者ニシテ伯国渡航ノ目的ノ為メニ初メテ結婚スル者モ同様ニ渡伯シテ此等官設移住地ニ就地スルコトヲ得ル義ニ有之殊ニ目下仮令独身者ニテモ若シ一町歩十五乃至三十「ミルレイ」ノ割合ヲ以テ地区代金ヲ一時ニ完納スルニ於テハ移住地内ニ於テ土地松下ゲヲ許サル特例モ有之候(尤モ独身者ハ一般ニ落附キ宜シカラザルヲ以テ夫婦者以上ニ限リ渡航ヲ御許可相成候事ニ御制限相成然ルベクト存ジ候)

仍チ右聯邦政府ノ恩典ヲ利用スル本邦移住民ハ夫婦者ニテ四百円ノ汽船賃ヲ大阪商船会社ニ仕払ヒタル上尚ホ四五百円ノ現金ヲ携帯シ来レバ「リオデジャネイロ」港ニ於テハ先年ノ「ミナス」州金鉱行移民ガ受ケタルト同一ノ待遇ヲ同港内フローレス島ノ聯邦移住民宿舍ニテ受ケ同所ヨリ移住地マデ官費ニテ送ラレ一躍独立農業ニ従事シ数年後ニハ一小地主トナルコトヲ得ル次第ニ有之若シ其ノ以前ニ現在移民中ヨリ篤志者若干家族ヲ選抜シテ此等移住地ニ先達トシテ就地セシメ置キ尚ホ新移住民来着シタルトキ案内者一名ヲ「リオデジャネイロ」港マデ出迎ヘシメ移住地マデ同

収及就地ニ関シ十分便宜相図リ申スベク候

此段申進候 敬具

追テ土地植民局ヨリ申受ケタル聯邦直轄移住地ニ関スル写真十二枚別封ヲ以テ差進候間通商公報口絵トシテ御利用相成度候

(本信写送附先 在サンパウロ松村総領事)

三四六 六月十一日 在サンパウロ松村総領事ヨリ
本野外務大臣宛

帰国移民ノ船賃仕払ニ関スル件

附記 伯国行移民運送船ニ対スル處理試案

通公第六八号 (八月四日接受)

大正六年六月十一日

在サンパウロ総領事 松村 貞雄 (印)

外務大臣法学博士子爵 本野一郎殿

当国在留移民中本月来着ノ管ナル移民輸送船若狭丸ノ帰航便ニテ帰国希望ノ者不尠候処同船ハ右便乗ヲ引受サルニ付移民会社ヨリ大阪商船会社ヘ交渉シ本半月頃来着ノ定期船タコマ丸ニ乗船、船賃ハ一人参百円トシ之カ出納ハ一切移民会社出張所ニテ取計フコトニ一決シタル旨本社ヨリ同出

行セシムルコトトセバ万事好都合ニシテ新来者自身ハ勿論我が政府ニ於テモ何等憂慮ヲ要セザル義ト存ジ候尚ホ本邦農民ガ聯邦政府直管ノ移住地ニ入りテ相当好成績ヲ挙げタルコト及本人ノ忍耐ト勤勉次第ニテ将来十分成功ノ見込アルコトハ「サンパウロ」州ニ於ケル「モンソン」植民地ノ实例モ有之要スルニ小官ノ献策ハ「バラナー」及「サンタカタリナ」二州ノ官設移住地ヲシテ第二、第三乃至第五、第六ノ「モンソン」タラシメ同時ニ伯国ニ向ツテ本邦移住民送入ノ溝渠ヲ恒久的ニ開築シ置カント希望スルノ趣旨ニ外ナラズ候幸ニシテ聯邦政府ノ土地植民局長ハ本邦人ニ対シテ多大ノ同情ヲ有シ「モンソン」植民地ニ於ケル本邦移住民ノ成績ニ鑑ミ小官ノ計画ニ対シテ頗ル賛成ノ意ヲ表シ出来得ル限り尽力スベシトノ約束モ有之候ニ付冀クハ本省ニ於テモ小官ノ献策御採用ノ上此機ヲ逸セズ速カニ之ガ実行ヲ期セラレ大阪商船会社ノ船便毎ニ仮令十家族二十家族宛ニモセヨ此種自由移住民ノ渡航ヲ見ルニ至ル様可然御配慮煩ハシ度尚ホ愈々聯邦移住地行本邦農夫当国ニ向ケ出発ノ場合ニハ郵便若クハ電信ヲ以テ予メ其ノ家族數御通報相成度左スレバ当方ニ於テハ土地植民局ト打合セノ上之ガ受

張所ヘ通知有之タル趣ニ候処之ガ換算英貨又ハ米貨額ヲ定メ来ラズ而カモ邦貨ヨリ直接伯貨ニ換算ノ途無之又邦貨ト英貨ノ相場モ当地ニ於テ知ル能ハサルガ為メ船賃仕払上ニ不都合ヲ生シ候事ト相成リ候現ニ移民会社出張所ハ約一ヶ月前其當時ノ相場ヨリ推シテ参百円ヲ伯貨六百三十ミル位ナラント仮定シ其割合ニテ勘定致シ居リ之ヲ昨今ノ相場ニヨリ英貨ニ換算スルトキハ参拾貳磅ト相成候然ルニ在当地并ニ「リオ」商船会社代理店ニ於テハ日本行参等船賃ハ英貨参拾磅ニ取定メ居リ候結果我帰国移民ハ外人三等船客ニ比シ二磅ノ多額ヲ支払フガ如キ奇観ヲ生シ居リ候於之帰国者中代理店ヘ切符購入ヲ申込ミタル者有之候処代理店ハ日本人参等船客ハ一切移民会社出張所ニ於テ取扱フ管ナリトノ理由ニテ申込ニ応セズ、仍テ同出張所ニ対シ英貨ニテ払込方ヲ交渉シタルニ既ニ船賃払込済ノ者トノ振合ヲ口実トシ英貨支払ノ場合ニハ其当日ノ相場ニヨリ六百参拾ミルヲ英貨ニ換算シタル額ヲ請求スベキ旨言明致シ候趣ニテ本件ニ関シ当館ヘ訴ヘ出タル向モ有之候尤モ移民会社出張所ニ於テハ伯貨六百三十ミルガ邦貨参百円ヲ超過シ居ル場合ハ之ガ超過額ハ本人ニ還付スヘキ旨当館ニ於テ言明致候得共要スルニ極メテ曖昧ノ遺口ト謂フベク邦人三等乗客ノ迷惑

不快不歎義ト存候就テハ今後如此場合ニハ邦貨額ヲ予メ一定英貨額ニ算出シ置キ尚ホ此ガ伯貨換算相場モ或ハ船賃払込当日ノ相場ニヨル等一見明確ニ了解シ得ラルル様取定メ今回ノ如キ事ヲ予防致候様当事者ヘ可然御内論相成リ候様致度前陳ノ如ク本件ニ関シ当館ヘ伺出候者モ有之候ニ付旁此段申進候 敬具

〔欄外註記〕

「移民会社及商船会社ヘ注意喚起ノ処今後総領事意見通り実行スルコトナレリ」

〔附記〕

- 伯国行移民運送船ニ対シテハ当省ニテ許可ノ際船会社ヲシテ左記事項ヲ承諾セシムルコトニ処理致シテハ如何
- (一)移民運送船ハ伯国ヨリ帰航ノ際往航ト甚シク異ナリタル迂回航路ヲ執ラザル場合ニハ必ラズ在伯帰国移民ノ乗船ヲ引受クベキコト
- (二)其船賃ハ往航船賃ノ五割増トス但シ帰航三等船客ノ船賃ガ上記五割増以下ナルトキハ低額ノ方ニ拠ルベキモノトス
- (三)船賃計算ノ便宜上伯貨一「ミル」ヲ邦貨五十錢ト換算スルコト

妻	ツヨ
長女	チズエ
二女	タカエ
長男	勉
戸主ナジユ 私生子 古庄 サメ	

明治二十八年七月十日生

右家族ハ明治四十五年四月元移民取扱人竹村与右衛門取扱第三回移民トシテ伯刺西爾國ニ渡航シタル処其実「サメ」ハ渡航セズ同村古庄荒熊長女「ハツエ」ナル者「サメ」ノ名ヲ詐リ渡伯シタル趣ニテ今回「ハツエ」婚姻届出ヲ在サンパウロ帝國総領事館ヘナシタル処ヨリ如上ノ事実発覚シ該婚姻届ヲ受理セザルハ勿論処分ヲ要スベキモノト認メ其旨同総領事ヨリ当省ヘ報告有之候ニ付右事実御取調ノ上相当御処分相成其結果ヲ直ニ御報告相成度此段申進候也

三四九 六月二十六日 本野外務大臣ヨリ
在サンパウロ松村総領事宛

伯国在留本邦移民ノ不良者取締方ニ関シ回訓

ノ件

通送第三一号

一〇「ブラジル」移民関係雑纂 三四九 三五〇

註 右ハ通商局第三課ノ試案ナリ

三四七 六月十四日 中村通商局長ヨリ
沖繩県知事及福岡県知事宛

氏名詐称渡伯移民沖繩県人及福岡県人ニ関スル件

通合送第四七〇号

貴県人知念次良(福岡県ニ対シテハ栗木音吉)ハ他人ノ氏名ヲ詐称シ渡伯シタルモノナルトコロ過般本人ノ自白ニヨリ判明セル趣ヲ以テ在サンパウロ松村総領事ヨリ別紙写ノ通り取調書送越候間右及移牒候条可然御取計相成度此段申進候也

註 別紙前掲ニ付省略

三四八 六月二十五日 中村通商局長ヨリ
熊本県知事宛

氏名詐称渡伯ノ移民熊本県人ニ関スル件

通送第四六九六号

氏名詐称伯国ヘ渡航シタル古庄ハツエニ関スル件
熊本県菊池郡平真城村大字平川二三二四
旅券番号 二三、〇一一 家長 古庄 秋吉

本件ニ関シ本年四月二十日付通信第五三号ヲ以テ御稟請ノ趣了承然ルニ御来示ノ如キ無頼不良ノ本邦人ヲ送還帰國セシムル場合ニ於ケル経費ニ付テハ目下ノ所之ヲ支出スベキ適當ノ予算無之候ニ付貴地ニ於テ可然御措弁相成候外無之將又送還汽船ニ就テハ近時貴地ヘハ日本郵船会社ノ外大阪商船会社ニ於テモ年四回ノ定期航路ヲ開始致シ此等ハ何レモ移民運送船ナルニ付貴信末段ノ如キ實際上ノ不便殆シド無之カト被存候ニ付テハ貴地ニ於テ当該船長ト御打合ノ上適宜ノ処置ヲ講セラレ候様致度此段申進候也

三五〇 六月二十七日 谷口福岡県知事ヨリ
中村通商局長宛

氏名詐称渡伯ノ移民福岡県人ニ関スル件

保収第六七四三号 (六月三十日接受)

大正六年六月二十七日

福岡県知事 谷口留五郎 (印)

外務省通商局長 中村巍殿

氏名詐称渡伯者ニ関スル件

原籍 福岡県浮羽郡水分村大字殖木八七番地

平民戸主儀三郎五男

栗木 音吉

明治卅年一月廿日生

右之者明治四十五年二月五日県下浮羽郡吉井町五百一番地平民戸主源次郎弟石井倉吉ノ名義ヲ籍リテ渡航ノ許可ヲ受ケ伯刺西爾國へ渡航シタル件ニ関シ本月十四日付通合送第四七〇号ヲ以テ御照會ニ依リ取調へ候処事實相違無之然ルニ本件ニ付テハ事件発生後滿三ヶ年ヲ經過シ公訴權消滅シタルモノト思料候モ取調ベノ上一件書類ハ所轄檢事ニ送致候条此段及回報候也

追而本件ノ連類者ト認ムル石井源次郎ハ目下渡伯中又移民募集ニ従事シタル業務代理人楠瀬徳之助ハ目下行衛不明ニ有之何レモ調査不能ニ候条申添へ候

三五一 六月二十七日

在サンパウロ松村総領事ヨリ
本野外務大臣宛

伯刺西爾移民組合第一回移民到着ノ件

附屬書 右移民來着狀況視察報告

通公第七六号

(十月八日接受)

大正六年六月二十七日

在サンパウロ総領事 松村 貞雄 (印)

ニ過キズ

輪送船若狭丸ハ今回ヲ以テ第四回ノ輪送ニ當レルモノ船員中移民輪送ノ經驗ニ富ムモノ尠カラズ四月二十日神戸港ヲ解纜門司新嘉坡、デラゴアペー及ケープタウン經由六月十五日午後二時サントス港ニ到着ス日ヲ閱スルコト五十六日航程壹萬貳千三百余哩ニ達セルガ、此間天候概シテ静穏ナリシモ、五月二十四日「デラゴアペー」出帆「ケープタウン」ニ向ケ航海中二十六日亜弗利加南沿岸沖ニ於テ稀有ノ大颶風ニ遭遇シ怒濤間斷ナク前後ノ甲板ヲ洗ヒ船體ノ動揺激甚ニシテ遂ニ操舵機ハ鐵鎖ヲ斷タレ舷窓ハ破ラレテ倉庫ノ一部ニ浸水スルニ至リ移民用臨時建設物タル甲板上ノ便所、浴室、配食所等或ハ倒壊セラレ或ハ流蕩セラルル等船内各所ノ損害多大ニシテ一時危險ニ瀕シタルガ乗組員ノ必死の努力ニヨリ辛フシテ危地ヲ脱シ幸ニシテ移民、乗員ニ異状ナク五月二十九日「ケープタウン」ニ入ルヲ得タリ神戶「サントス」間日數ノ從來ノ例ニ比シテ長時日ヲ要シタルハ損所修繕ノ爲メ「ケープタウン」ノ碇泊五日ニ及ヒタル結果ナリ

航海中ノ移民ノ動靜ハ極メテ静肅平穩能ク規律ヲ遵守シ長

外務大臣法学博士子爵 本野一郎殿

組合第一回移民來着狀況報告之件

本月十五日サントス港來着ノ伯刺西爾移民組合第一回移民狀況視察ノ為メ多羅間書記生ヲ派遣候処別紙復命書提出候間茲ニ及進達候 敬具

(附屬書)

組合第一回移民來着狀況視察復命書

今次來着ノ移民ハ客年八月我伯刺西爾移民組合ト當地アンソーンネス會社トノ間ニ新タニ成立ヲ見ルニ至リタルサンパウロ州珈琲耕地労働移民年五千人宛四ヶ年間誘入ノ契約ニ基ク第一回輪送三百四十六家族人員千貳百四十貳名(内十二才以上一〇八一名)及ヒ舊臘「ミナス」州政府トノ間ニ契約セラレタル本年内ニ誘入スヘキ百家族中ノ第一回五家族此ノ人員貳拾名并ニ被呼寄移民八十八名ニシテ他ニ若干ノ職工及單獨渡航者アリ此等ノ本籍ハ福島外二十五縣ニ亘リ沖繩ノ七十九家族ヲ最大トシ此ニ次デ佐賀、廣島、愛知、福島、山口、熊本、福岡等三十乃至二十家族ヲ出シ他ハ一ヶ家族乃至十家族内外ナリ宮城、和歌山、茨城、栃木、山形ハ今回初メテ移民ヲ出シタルモ一家族乃至四家族

途ノ航海ニ於テ往々見聞スルガ如キ船内取扱向或ハ飲食物ニ對スル不平苦情等ヲ聞カサル而已ナラズ船員ノ取扱振ニ對シ多大ノ感謝ヲ表シ居タリ

衛生狀況モ亦タ佳良ト謂フベク、偽似赤痢患者一名ヲ出シタルモ幸ニ蔓延スルニ至ラズ死亡者ハ廣島縣人大田平四郎(三十才、心臟麻痺)佐賀縣人大田ワサエ(二才、消化不良)愛知縣人伊藤ジツ(二十四才、妊娠惡阻)佐賀縣人東島忠吾(一才腦膜炎)ノ四件ニシテ出生三件アリタリ

六月十五日午後一時四十分サントス港ニ投錨スルヤ直チニ檢疫醫上船一應書類ヲ點檢シ單ニ患者ノ病名ヲ訊問シタルノミニシテ乘客乗組員ノ檢査ヲ省略次デ移民官來リ何等ノ煩累ナク即日上陸ヲ許可ス蓋シ近來移民ノ入國極メテ尠ク收容所閑散ノ結果ナリ

午後三時三十分埠頭ニ繫船直ニ上陸ヲ開始ス第一列車ハ午後八時サンパウロニ向ケ出發シ殘部百五十名ハ船内一泊ノ上翌十六日午前八時三十分、第二列車ニテ出發ス、手荷物ハ午後二時三十分第三列車ニテ輪送シタリ

前記第一列車ハ十五日夜十一時第二列車ハ十六日午後八時各收容所ニ着シタルガ當時外國移民ノ宿泊スルモノナク從

テ寢室食事等萬般些ノ不便ヲ感セサリシハ好都合ナリシ船中ヨリノ患者六名ハ所内ノ病院ニ入りテ治療ヲ受ケ内二名ハ更ニ市立慈恵病院ニ送ラレタリ

収容所着後耕地ノ割當終ルト同時ニ耕主トノ契約成リ十八日手荷物ノ検査引渡シヲ受ケ二十日朝ヨリ耕地ニ向ケ出發ヲ始メ二十一日ミナス州行移民ヲ最終トシテ滞リナク全部ノ出發ヲ了シタリ

新來移民ノ入りタル耕地ハ總數三十七ニシテ内今回初メテ我移民ヲ契約シタルハ六耕地ニ過キズ他ハ何レモ現ニ舊移民ヲ雇傭シ居ルモノナレバ新移民ニトリテハ多大ノ便宜トイフベシ而シテ此等耕地ハ移民組合ガ其多數ノ申込中ヨリ特ニ優秀ト認ムルモノヲ選抜シタルモノトス、勞銀其他ノ條件ニ至テハ一般的ニシテ特記スヘキモノナシ以上ハ組合第一回移民來着ノ概略ナリ左ニ少シク新來移民ニ對スル感想ヲ略述ス

移民ラシカラザル者多カリシ事

移民船若狹丸ニ乗船シテ第一ニ感シタルコトハ新來ノ移民ガ其衣服調度ニ於テ將タ骨格態度ニ於テ概シテ移民ラシカラズ、農事ニ從事シ居リタル者ト認メ難カリシ事トス換言

事スル者殆ンド皆無ニ近キ鹿兒島及今日ニ於テハ自營農業ニ幾分成績ヲ示スト雖トモ曾テ契約移民トシテ不良ヲ極メタル沖繩ノ兩縣ガ突如トシテ復活シ而カモ總數ノ約三分一ヲ占ムルノ一事ハ特ニ注意ヲ要スル點ナラン

服裝ノ所持金ノ事

移民ノ服裝ハ區々ナリシモ華美ニ失スルモノ尠カラズ、婦人中「セル」地流行型ノ洋服（二十圓ヲ要シタリトイフ）或ハ之ニ類スルモノ、又ハ絹着物ヲ用ヒ居リシ者ヲ不尠見受ケ男子中ニハ新調ノ山高帽子ニ金縁眼鏡ヲ用フルモアリ上等縞羅紗地三ツ揃ニ金鎖ヲ絡マセル者アリ、此等ハ當國中流人士ノ仕度ニシテ單ニ經費上ノ點ノミニ止マラズ外觀上ヨリモ不似合ノ次第ナリ此等ノ中ニ在リテ佐賀、福岡、沖繩移民ハ縣別男女各揃ノ木綿労働服（六七圓位トイフ）ヲ着用シタリシハ機宜ノ所置ト謂フベク一般ノ範トスベシ「セル」地一着分ニテ三着ノ労働服ヲ調ヘ絹布ニ代フルニ洗濯自由ノ木綿着ヲ選ハシメ山高帽ノ如キハ絶對ニ用サラシムル様更ラニ嚴重ノ注意ヲ要ス契約労働移民ノ身分トシテハ餘分ノ金ヲ携帯スルガ如キハ極メテ矛盾ノ事ナルガ今回ノ移民中「ミナス」州行一家族ノ如キハ實ニ八百圓ヲ携

スレバ果シテ激烈ナル耕地労働ニ耐ヘ得ヘキヤ、徒ラニ今日既ニ千ヲ以テ數フル市内浮浪者ノ群ヲ増加スルノ結果ヲ來サズヤトノ懸念ナリシガ、収容所ニ入りテ更ニ仔細ニ觀察スルニ及デ益々此感ヲ深クシタリ而シテ之レ單ニ小官ノ卑見ノミニアラズ、約六十日間彼等ヲ觀察スルノ機會ヲ有シタル船員、移民受取ノ爲メ出府シタル耕地監督、或ハ多年移民ニ經驗ヲ有スル収容所員等ノ何レモ感ヲ同フシタル所也彼等ノ成績ニ就テハ逆睹スル能ハズト雖トモ之ヲ既往ノ事例ニ徴シテ如此ハ良好ノ移民ト認メ難シ既ニ一定人員募集ノ義務アリ更ラニ又少カラサル旅費ヲ要スルアリ、真正ノ意味ニ於ケル労働者ノミヲ精選募集スルハ事困難ナルベキモ今少シク都市附近半商半農ノ所謂口利ヲ避ケテ山間僻邑ノ屈強素朴ナル純労働者ヲ獲ルニ努ムルノ要アルベシト認ム金縁眼鏡、角刈リ移民ハ滑稽ニ過キ、女學校出等ニ至テハ寧ロ悲惨ニ庶幾シ

鹿兒島縣及沖繩縣移民

既ニ記シタル如ク今次ノ移民中從來最モ多數ニシテ且ツ第一ノ好成績ヲ舉ケ居レル熊本、福島、廣島縣等著シク減少シテ既往ノ成績劣等ニシテ現ニ耕地労働又ハ獨立農業ニ從

帶セリ此レ偶々例外トスルモ猶ホ百圓二百圓ヲ携帯セシモノ尠シトセズ其意果シテ奈辺ニ在ルヤ推量ニ苦シム所ナルガ、察スルニ所謂用心金ト云フモノナラン現ニ或一人ノ如キハ収容所ニ於テ邦貨五十圓ヲ小官ニ差出シテ日本へ送付ヲ乞ヒタル者アリタリ此レ畢竟船中或ハ耕地事情ノ不明ニ基クモノナレバ豫メ充分ノ注意ヲ與フルノ要アルベシ外國移民誘入ニ關シテ極要ノ地位ヲ占メ而カモ從來我移民ニ對シテ餘リ好感ヲ有セサル移民収容所長ノ如キハ疾クニ此點ニ氣付キ今回モ批評的口吻ヲ洩シタリト聞ク尚ホ更ニ注意ヲ要スルハ携帯金ハ必ラズ總テ外國貨即チ英貨、然ラサレバ仏、米貨トシテ携帯セシムベキ事ナリ之レ當地ニ於テハ邦貨ト伯貨ノ換算相場ヲ算出スル能ハズ、又多額ノ日本貨ヲ兩替スルモ之ガ始末容易ナラサルヨリ自然換算相場法外ニ低廉トナル結果ヲ來セバナリ現ニ今回ノ如キモ収容所内公設兩替所ハ當時一磅二十ミルノ相場ナリシニ拘ラズ、十圓ヲ僅カニ十三ミル餘ニテ兩替セルガ如キ有様ニテ携帯金ノ多キ丈ケ多大ノ損害ヲ蒙ルコトナリタリ故ニ第一ニ餘分ノ携帯金ヲ禁シ第二ニ已ムヲ得サル者ハ外國貨トシテ携帯セシムベシ或ハ組合ヲシテ豫メ相場ヲ定メテ一手ニ引受

ケシメバ偶々過分ノ携帯金ヲ有スル場合之ヲ制シ得ルト同時ニ無難ニ両替セシムルヲ得ベキカ

移民并ニ便乗者ノ携帯荷物ノ事

當州在留ノ我不良ノ徒ニシテ豫メ新移民ニ内通シテ窃カニ商品ヲ手荷物トシテ密輸入セシムルモノ尠カラズ移民船便乗者中ニハ特ニ甚シキモノアリ、當國當該官憲モ内々心付キ居ルヤニ聞キシガ今次ノ移民船ニ於テモ中等便乗者ノ一婦人ヨリ其携帯ノ商品ヲ密輸入方ニ就キ小官ニ相談ヲ持懸ケタル珍事實アリ更ニ又移民手荷物ト共ニ収容所ニ搬入セル移民會社員ノ荷物中東洋移民會社ノ分身日本貿易會社送出ノモノヨリ多數ノ羽二重、絹ハンケチノ類頭ハレ、此等ハ着港ニ際シ規定ノ申告ヲナサザリシモノトテ罰金處分ト決セラレタルガ、内密交渉ノ結果約四コントス（二千餘圓）丈ケノ科料ニテ落着シタル事實アリタリ其ノ故意ニ出タルヤ否ヤハ暫ク措キ、苟クモ移民會社ノ當事者ガ如此失態ヲ演スルガ如キハ實ニ遺憾トイフベク、斯カル事實ガ我今後ノ移民ニ及ボス惡影響ハ勿論我商業家ノ信用上ニモ甚タ面白カラサルモノアルベシ既ニ内々當局者ノ知ル處トナリ、更ラニ如上ノ事實モ生シタル事ナレバ今後ノ移民并ニ

便乗者ニ對シ不心得或ハ不注意ナカラシコトヲ更ニ嚴達スルノ要アルベシ

移民家族構成ニ關スル事

當州契約移民ハ家族ヲ構成スルモノナラサルベカラサルハ言フ迄モナシ移民ニトリテモ實際家族ノ良否ガ直チニ其ノ成績ニ至大ノ影響ヲ及ボスハ既往ニ徴シテ顯著ノ事實ナリ彼ノ耕地ヲ轉々シ市中ニ流入シテ放浪ノ身トナリ、他方日本移民反對論者ニ其口實ヲ與フルニ至ルノ原因ハ主トシテ不良家族即チ偽造家族ニアリ此等ハ假リニ最初ノ契約年限ハツトムルトモ契約一度終レバ忽チ東西ニ分離スルガ常態ニシテ其結果モ知ルベキナリ從テ我移民ノ發展ヲ期セントセバ家族構成ニ最モ留意スルヲ要ス尠クトモ一家族ノ主腦ナル夫婦丈ナリトモ真正ノモノナラシメサル可ラズ然ルニ從來ノ事實ハ實ニ甚シキモノアリ移民募集人等ノ姦計ニ從ヒテ、他人ノ妻ヲ我妻ト詐リ或ハ他人ヲ實子ト欺キテ渡來シタルガ如キハ特例トスルモ、戸籍面上真正ノ夫婦トナリ更ラニ養子ヲ迎ヘテ表面上正規ノ一家ヲ構成シ而カモ其實ハ全クノ形式タルニ過キズ、旅費ノ如キモ各自ノ負擔トシテ渡來シ伯國ニ入ルヲ俟テ直チニ國許ニ於テ離婚ノ手續ヲ

客月十二日當國聯邦議會下院ニ於テ「リオ」州撰出議員ニ

シテ下院外交委員タル「マウリシオ、デ、ラセルダ」ハ當國ニ於ケル獨逸殖民並ニ日本移民ニ關スル攻撃演說ヲ為シタリ右ハ實際ノ事情ヲ誤解シ移民ト殖民ヲ混同シ且ツ故意ニ惡罵ヲ逞シタルモノト認メラレ候モ當國政治家中日本移民ニ反對スルモノノ意向ヲト知スルニ足ルモノト思考致候ニ付官報掲載議事録ニ就キ右演說中我移民ニ關スル部分ヲ抄訳シ別紙報告差進候間御査閱相成度此段申進候 敬具

〔附屬書〕

「マウリシオ、デ、ラセルダ」氏ノ議會ニ於ケル

日本移民攻撃論

（前略）予ハ茲ニ本院ニ對シテ斷言ス、日本殖民地ハ我伯國人民ニ對シ直接ニモ將タ間接ニモ何等ノ關係ヲ支持スルモノニアラザルコトヲ、加之日本移民ハ「カイシヤ」（日本ノ會社ノ一）ノ重役ヲ通シテニアラザレバ實ニ「サンパウロ」當該官憲トサヘ言語ヲ交ヘ交渉ヲナスコトナシ而シテ此「カイシヤ」タルヤ全ク日本人ヲ扱フ商人ニシテ此等日本人ハ彼等ノ汗ヲ以テ彼等ノ州政府豫定ノ日本殖民地ニ輸送スルニ要シタル會社ノ失費ヲ償却シ了ル迄ハ其地ニ拘

ナシテ四方ニ分散スルガ如キ、普通人士ノ想像ニ及ハサル

事ニシテ而カモ其例甚ダ尠カラズ今回ノ移民中ニモ現ニ既ニ船中ヨリ所謂契約夫婦ノ事實ヲ曝露シテ監督者ヲナヤマシタル者一再ナラサリシト確聞ス如斯ハ獨リ移民ノ聲價ニ累ヲ及ボシ將來ノ發展ヲ害スルノミナラズ、當事者等ニトリテモ一生ヲ誤マルノ因タルモノナリ

故ニ移民募集上多少困難ヲ來タス等ノ關係ハアルベキモ此丈ハ適當ノ豫防策ヲ講スルコト斷シテ必要ト認ム入籍後一年或ハ二年間、夫婦ガ同棲シタル事實ヲ必要條件トスルガ如キモ亦一案ナルベシ

三五一 七月五日 在サンパウロ松村總領事ヨリ
本野外務大臣宛

伯國聯邦議會ニ於ケル日本移民攻撃演說報告

ノ件

附屬書 議會議事録ニ掲載ノ右演說抄訳

通公第七七号

（十月八日接受）

大正六年七月五日

在サンパウロ總領事 松村 貞雄（印）

外務大臣法学博士子爵 本野一郎殿

東セラルルナリ

更ラニ重要ナル事項ハ「サンタ、カタリナ」「パラナ」「リオグランデ、ド、スール」「サンパウロ」諸州ニ於ケル獨逸殖民及「サンパウロ」州ニ於ケル日本殖民ガ共和國內ニ於ケル人口稀薄ノ地方ニ移住セザルコトナリ我國政治家ハ皮想ノ偏見ニ基キ「カボクロ」(土人)ガ驚嘆スベキ抵抗カヲ有シ日出ヨリ日沒迄就働ニ堪フルニ拘ラス我社會的政治的組織ノ淆沌タル經濟界ニ於テハ一個ノ懶惰漢ニ過キズト速斷シ罪惡のニ強テ我「カボクロ」ニ代フルニ歐洲又ハ亜細亞ノ潮流ヲ以テセントス、見ヨ「サンタカタリナ」又ハ「パラナ」ノ内奥ニ移殖セラレタルコトアルヤ「サンパウロ」州人口稀薄ノ地方ニ移殖ノ行ハレタルコトアリヤ

「ブエノ、デ、アンドラダ」氏、貴殿ハ誤解セリ不贊成ナリ

移民ノ潮流ハ何レニ向フヤ我「カボクロ」ノ既ニ定住セシ處ニ向フニアラズヤ「サンタカタリナ」州ニ於ケル「ハンセアチカ」會社ハ……

「ブエノ、デ、アンドラダ」氏、「サンパウロ」州ニアリテハ日本人ニ關シテハ或ハ然ランモ伊太利人ニ對

土人ノ原始的耕作法ニ代フルニ日本人ノ原始的方法ヲ以テシタルニ過キズ人種學上彼日本人ト我「カボクロ」人トヲ對比スルニ亞米利加土人ハ亜細亞人ヨリ出ツトノ學說ガ驚クヘク實蹟セラルルト共ニ又我土人ノ原始的耕作法ガ彼等日本人ノ方法ト驚クヘク一致スルモノアルヲ見ル、予ハ日本人ガ棒ヲ以テ米ヲ播キ之ヲ刈ルニ小刀ヲ以テスルヲ見タリ而シテ又「カボクロ」人ガ棒ヲ以テ米ヲ植ヘ之ヲ刈ルニ小刀ヲ以テスルヲ目撃シタリ而カモ州ガ特ニ驅逐セントスル「カボクロ」人ノ労働ハ州ノ保護スル日本人ノ労働ニ比シ二倍以上ノ功果アルヲ認ム、予ハ現ニ某郡^(備考、イグアペ郡日本殖民地方指ス)ヲ觀察シタルガ同地ニハ「サンパウロ」選出議員諸君否同地方撰出ノ議員スラ……

「カルロス、ガリシヤ」氏、予モ同地方ヲ觀察セリ貴殿ハ除外ナリソハ折角言ハントセシ所ナリ貴殿トハ已ニ日本殖民ニ關シテ得タル感想ニ就キ親シク意見ヲ交換セリ「カルロス、ガリシヤ」氏、同殖民ニ關シテハ我輩等モ亦タ注意シ居レリ

「ブエノ、デ、アンドラダ」氏、辨者ハ予ノ言フ所ヲ聴カズシテ辯論ヲ繼續スルコト能ハズ予ハ予ノ地方ヲ

シテハ然ラズ

「ヴェルジリオ、ヴァルセア」ノ著書ニ記載セル往古ノ住民ヲ現ニ其右岸ニ「ブルームノー」市ヲ有スル「カタリナ」河ノ左岸迄驅逐スルヲ得タルニアラズヤ「サンパウロ」州政府ノ如キ「イグアペ」郡ニ於テ空地アリトシ之レガ限界測量ヲ命セシニ其結果一小部分ヲ除クノ外「カボクロ」人即チ彼地方土人ノ既ニ周ク定住シ居ルコトヲ發見セリ

「ブエノ、デ、アンドラダ」氏、此點ハ全然貴説ノ如シ然レトモ是レ問題外ナリ

若シ政府ノ圖ル所ニシテ専ラ人口移殖ニアリテ伯國人口排除問題ニ關スルトコロアラズトセバ政府ハ即チ詭辯ヲ弄シタルモノニシテ尚ホ現ニ之ヲ弄シツツアリト云フヘシ政府ノ當サニ爲ササルベカラザリシコトハ此等「カボクロ」人ヲシテ其土地所有權ノ公認ヲ獲セシムルニアリタリ知ラルル如ク郡内廣漠ニシテ此等「カボクロ」人ガ土地所有ニ關シ法律上ノ公認ヲ得ンガ爲メ官廳ニ至ラントセバ一ヶ月以上労働ヲ休止セザルヘカラズ此等困難ノ結果彼等ハ遂ニ從來耕作セル土地ノ所有權ヲ喪失スルニ至レリ而シテ其結果我

知ル殆ント各戸ニ就キテ之ヲ知レリ

若シ貴殿ニ於テ強テ予ト爭ハントセハ予モ亦タ本論ヲ繼續スル熱心ヲ有ス

從來移民ノ誘入ヲ要シタルハ専ラ農業労働ニ限定セラレタルモ「サンパウロ」州ニ於ケル殖民ハ單ニ之レニ限ルモノニアラズ其證據ニハ「サンパウロ」首府ヲ回繞スル廣漠タル舊耕地ハ遂ニ西部ノ「エルドラド」ノ富源ニ憬レタル伊太利ノ原始移民及労働者ノ爲メニ拋棄セラレタルニアラズヤ

會社ノ補助ノ下ニアル日本移民ハ少額ノ勞銀ト粗食ニ堪フ一予ハ茲ニ斷言スベシ其食事ナルモノヲ見ルニ實ニ滑稽ニシテ「イグアペ」ニ於テハ單ニ米ヲ食スルノミナラズ野生ノ樹木、蕨、竹等ヲ喰ヒ御馳走トシテハ單ニ彼地ニ多キ野鳥ノ汁ニ過キス一日本人ハ内國労働者ヲ閉塞シ伊太利労働者ヲモ驅逐セリ「サントス」港埠頭ニ於テハ彼等ハ他國労働者ト混同セラレサランコトヲ強請スルニ至レリ蓋シ彼等ハ勞銀低廉ナルモ其仕事振ハ他國労働者ノ夫レニ比シ二倍程劣等ナレバナリ

會社ハ此勞銀低廉ノ故ヲ以テ日本人ヲ多數使用シ我國人並

ニ外國殖民ノ多數ヲ驅逐セントス

今茲ニ改テ一言スヘキコトアリ現時「サンパウロ」州ニ於ケル日本移民ハ交通不便ノ故ヲ以テ二百乃至三百家族ニ過キザリシガ今回ノ契約ニ依レバ今後數年間「イグアペ」又ハ西部地帯ニ一萬乃至二萬以上ノ日本人ヲ見ントス換言スレバ「サンパウロ」州ハ沈黙ニシテ而モ狡猾、微笑的ニシテ而モ卑屈ナル、伯國國家組織ト相容レザル此等東洋ノ鼠族ヲ輸入セントス是レ伯國ニ取リテハ現戰爭ニヨリテ自ラ解決セル獨乙殖民問題ニ比シ更ラニ重要ナル問題ナルヘシ「カルロス、ガリシヤ」氏、貴説有理ナリ危險ハ豫見セラル

加之世界各國ハ日本移民ニ對シ其門戸ヲ閉鎖シ居レリ然ルニ日本ノ人口ハ恰モ豚鼠ノ繁殖ヲ見ルカ如キ驚クヘキ増殖ヲ示シ「マルサス」ノ人口論ヲ事實ニ於テ裏書シ其發展ノ必要ニ迫リ居レリ本移民ニ對シテ曾テ「ドクトル、モラエス、バルロス」(備考、サンパウロ州前農務長官ニシテ大正五年日本ヲ視察セル人ナリ)ノ施シタル折角ノ障礙ニ對シテモ「會社」又ハ日本移民ノ契約者ナリト聞ク「アンツーネス」商會ハ毫モ逡巡スルトコロアラザリシ當初日本移民ハ歐洲移民ニ對シ劣等ナルモノトシテ排斥セラ

戸主 家長 山下 定八

明治十九年十二月十三日生

妻 トモヨ

弟 宗一

明治二十六年三月三十日生

右家族ハ明治四十五年四月竹村殖民商館取扱第三回移民トシテ渡來シタル処別紙上申書ノ通り其実宗一ハ渡來セズ其弟只七同人ノ名義ニテ來伯シタルモノニシテ明年徵兵適齡ニ相当シ猶予出願ノ必要ニ迫マラレ自白スルニ至リタル次第ニ候就テハ事實御取調ノ上至急可然御措置相成度別紙上申書相添此段申進候 敬具

註 別紙上申書記録ニ存セズ

三五四 八月十二日 在サンパウロ松村總領事ヨリ
本野外務大臣宛

呼寄移民提出書類ニ関シ關係地方村長ニ注意

方ノ件

通公第九二号 (十月四日接受)

大正六年八月十二日

在サンパウロ總領事 松村 貞雄 (印)

一〇「ブラジル」移民関係雜纂 三五四 三五五

レ且ツ其入來ニ對シテハ「サンパウロ」州政府暗々裡ノ妨害アリシニ拘ラス日本移民ハドシドシ「サントス」埠頭ニ押寄せ來リ沈黙、狡猾且ツ脅迫的ニ「サンパウロ」ノ組織ヲ侵害セリ此等隠靜、不屈、執拗ナル夥多ノ恐ルヘキ波瀾ハ何時ノ間ニカ横溢シ内國労働者及ヒ殖民ノ爲メ巨額ノ資ヲ投シテ誘致シタル歐洲労働者ヲ驅逐セントス然ルニ我歸化移民ニ關スル斯道大家ニシテ國內ニ發生スル此重大ナル危險ニ對シ將タ我國民ノ脈管ニ浸潤セントスル此有毒人種ニ對シテ未タ曾テ國民ノ注意ヲ喚起シタルモノアルコトナシ(以下略)

三五三 八月二日 在サンパウロ松村總領事ヨリ
本野外務大臣宛

氏名詐称渡伯ノ移民熊本県人ニ関シ報告ノ件

通公第八八号 (十月一日接受)

大正六年八月二日

在サンパウロ總領事 松村 貞雄 (印)

外務大臣法学博士子爵 本野一郎殿

熊本県人山下只七偽名渡來ニ関スル件

熊本県天草郡坂瀬川村二十八番地

外務大臣法学博士子爵 本野一郎殿

沖繩県島尻郡具志川村長ヘ注意方ノ件

当州在留沖繩県人上江洲知維ヨリ其友人沖繩県島尻郡具志川村上里加那ナル者ヲ呼寄ノ為メ今回別紙具志川村長ノ書翰様ノモノヲ添付シ之ガ証明方ヲ当館ヘ願出候処勿論詮議ノ限りニ無之候得共右添付書類ハ何人カ村長ノ公印ヲ盗用シタル疑有之候ニ付茲ニ及御送付候間同村長ヘ御注意方可然御取計相成度此段申進候 敬具

註 別紙記録ニ存セズ

三五五 八月十四日 在サンパウロ松村總領事ヨリ
本野外務大臣宛

伯刺西爾移民組合第二回移民到着ノ件

附屬書 右移民到着状況視察報告

通公第九六号 (十月四日接受)

大正六年八月十四日

在サンパウロ總領事 松村 貞雄

外務大臣法学博士子爵 本野一郎殿

組合第二回移民來着状況報告ノ件

本月九日「サントス」港來着ノ伯刺西爾移民組合第二回移

民狀況視察ノ為メ三隅書記生ヲ派遣候処別紙復命書提出候間茲ニ及進達候 敬具

(附屬書)

組合第二回移民來着狀況視察復命書

今回河内丸ニテ來着シタル移民ハ客年伯刺西爾移民組合ガ當地「アンソーネス」會社ト契約セル珈琲耕地労働移民ニ該ツベキ本年度第二回ノ輸送ニ係ル百四十三家族此人員五百十名(内十二才以上四百四十六名)ト「ミナス、ゼラエス」行家族移民五家族此人員十七名、「イグアペ」行家族移民三家族十一名ヨリ成リ合計五百六十二名、別ニ三等客便乗者六名アリタルモ内三名ハ亜尔然丁ノモノナリトス。此等移民ハ沖繩縣外十七縣ヨリ來レルモノニシテ沖繩縣ハ百三家族三百四十七名ニシテ全員ノ過半数以上ヲ占メ之ニ次ク福岡縣ハ其數非常ニ下リ僅ニ七家族二十七名ヲ示スモノニシテ長野、福井、愛知ハ四家族宛、和歌山縣ハ三家族、新潟、静岡、廣島、山口、長崎、佐賀ハ二家族宛、宮城、福島、石川、兵庫、鳥取、熊本ハ一家族宛ニ過キズ。

右河内丸ハ六月十二日神戸港解纜、門司、新嘉坡、「デ

ラゴアペー」及「ケープタウン」ノ各港ヲ經由シ八月九日午前十一時「サントス」港ニ到着セリ。日ヲ閱スルコト五十八日ニシテ定期ヨリ早キコト一日ナリト云フ。航海中ハ殆ンド天候良好、時ニ惡風ノ來襲ト熱帶圈内通過中ノ數日間ハ炎熱甚タシク堪ヘ難キモノアリシニ係ハラズ之ヲ全航路ヨリ見レバ海上平穩、氣候温和ニシテ甚シキ激變ナカリシヲ以テ一般移民ノ健康上ニ及ホセン影響ハ甚シカラズ、多數ハ常ニ元氣旺盛ニシテ愉快ナル航海ヲ持續シタリ、船員ノ移民ニ對スル取扱振ト普通移民船客苦情ノ本タル飲食物ニ關シテハ移民ヨリ何等不平アリシヲ聞カザリシノミナラズ却テ之ニ對シテ満足ト感謝ノ意ヲ表スルモノアリタリ。同時ニ移民船ノ航海ニ於テ動モスレバ生ジ易キ何等紛擾ヲ生ゼズ移民ノ動靜ハ極メテ靜肅平穩、風紀モ良ク、就中過半数以上ヲ占メシ沖繩縣人ハ成績最モ良好ニシテ和衷協同、克ク秩序ヲ維持シタリ。

衛生狀態モ亦佳良、航海中一名ノ腸窒扶斯患者ヲ生シ該患者鳥取縣人中井滋三(八才)死亡シタルモ他ニ傳染セズ、右以外ニハ死亡者ナク又特別ニ船中特記スベキ重大患者ヲ見ズ。

河内丸ガ「サントス」港投錨後檢疫官ハ之ニ對シテ前回若狹丸同様何等面倒ナル検査ヲ行ハズ、移民收容所長、移民検査官モ上船即日上陸ヲ許可セリ、直ニ埠頭ニ繫船、午後三時移民全員ノ上陸終了シ「サンパウロ」ニ向ケ出發同夜「サンパウロ」市移民收容所ニ到着、收容所ニハ當時外國移民ノ泊リ合ハセナカリシヲ以テ宿泊、食事等萬事好都合ニ運ベリ。

十日移民家長ト名簿ノ校合、耕地ノ割当、耕主トノ契約成リ十一日到着ノ手荷物ノ検査引渡ヲ了シ同日夕刻ヨリ耕地ニ向ケ出發ヲ初メ十三日朝「イグアペ」行殖民ヲ最終トシ全部ノ出発ヲ無事ニ終了セリ、以上ハ今回移民來着ノ概況ナルガ要スルニ今回ハ來着移民數割ニ少カリシヲ以テ上陸ヨリ手荷物受取、耕地出發ニ至ル迄迅速容易ニ相運ビ且ツ來着移民ノ過半数ハ沖繩縣人ヲ以テ占メ居ルヲ以テ大體ニ於テ容貌骨格ヨリ衣服態度ニ至ル迄一見移民ランキ感想ヲ與ヘタリ、之ヲ前回若狹丸ニテ來着シタル移民ニ比スレバ労働移民ヲ多ク網羅シ居ル如ク認メラルモ廣ク各縣ニ亘リテ募集シ強テ人數ヲ揃ヘントシタル結果カ多少純粹ノ労働者以外ニ渡リタル事實ヲ認ム。現ニ教員、巡查、鑛山

書記上リ等多少教育ヲ受ケタルモノアルガ此等ガ悉ク労働ニ堪ヘズト斷言シ難キモ由來耕地ニ在リテ動モスレバ自己ガ労働セザルノミナラズ他ノ善良ノ移民ヲ煽動スルモノハ此種ノ移民ニ多キ事實ハ否ム可ラザルヲ以テ可成此種ノ移民ヲ避ケ純粹労働者ノ精選募集ヲ希望セザルヲ得ズ、現ニ此中ニハ既ニ航海中ニ耕地到着後脱走ヲ企テ居ルモノアリシヲ聞クハ頗ル怪シカラヌコトナリ。

手荷物ニ就テハ兎角本邦移民ハ携帯品多キニ失スルハ屢々警告ヲ與ヘラレタル處ナルガ今回來着ノ沖繩縣人ノ如キハ此點ニ豫メ注意アリシト見エ割ニ少ナキヲ認メシガ唯タ上陸汽車ニ乗込ムノ際實際直接ニ必要分離ス可ラザルモノト貨車ニテ送付シテ差支ナキモノトノ荷作方ヲ混同シ居ルノ結果一方ニ於テハ「バケツ」其他コレヲ類似品ヲ汽車内ニ持込ムモ他方ニハ收容所ニ於テ直接入用ノ必要品ヲ忘却後廻ニスルノ失態ヲ演ズルモノアリ、コレヲハ船中ニ於テ注意モアリタルコトナルベキモ尚上陸二三日前ニ特ニ嚴重注意ヲ要スルモノト認ム。

尚今回ノ便乗者三等客中新潟縣人森田盛喜ハ非移民ノ旅券ヲ有シ其目的視察ニ存スルコトヲ明記シアリ、非移民ノ

渡來ト及ヒ視察其他ノ目的ヲ有スルモノ、三等客トシテ渡來スルコトニ就テハ既ニ稟申ノ次第モアリタルニ（客年十二月十六日通公第九二号信）此種ノコトヲ繰返シ帝國政府ノ旅券ニ視察ト認メアルモノガ當國ニ於テ當然移民視スル三等客トナリテ來ルハ本人自身ノ威嚴ヲ損スルノミナラズ當國官憲ノ輕蔑ヲ受ル恐アリ、大ニ遺憾ニ感ゼリ、又同便乗者沖繩縣人真榮城守慎、北海道朝倉常次郎ノ兩人ハ何レモ移民専用旅券ヲ有シ居レリ、右ノ内朝倉ノ方ハ伯國領事ノ査證ヲ受ケ手數料ヲ納メ居ルモ真榮城ノ方ハ普通移民同様之ヲ省略シアリ、而シテ真榮城ニ就キ質スニ本人ハ郷里ニ於テ財産六萬円以上ヲ有スル保證ノ下ニ農業従事ノ目的ヲ以テ旅券下付ノ恩典ヲ得タル由ナリ、朝倉ノ方モ大同小異、此種ノ財産條件ニテ下付ヲ得タリト。從來當國ニ來ル本邦移民ハ移民會社契約ノ下ニ渡航スルカ又ハ當國在留移民ガ當館ヨリ呼寄證明書ヲ發給ヲ得テ呼寄スル移民ニ制限セラレ居シニ右以外ニ今回ノ自由移民渡航ヲ見ルニ至リタルハ茲ニ一新例ヲ開キタルモノト云フベシ。然レバ從來當館ニ於テ被呼寄人ノ親族關係ニ立入りテ折角制限ヲ加ヘ來リタルモノモ殆ンド無意義ニ歸シタルモノト見ザルヲ得

ズ。若シ又右兩人ノ財産資格ガ當國ニ渡航農業ヲ營ムニ十分ナリト認ムル見地ヨリ之ヲ許可サルモノトセバ當然非移民ノ旅券下付アリテ可然モノノ如ク考思セラル、其特ニ移民専用旅券ヲ下付セラレタル特別理由ヲ知ルニ苦シム、此二件ハ今回便乗三等客ノ渡來ニ關シ起サンメシ疑問ナルヲ以テ特ニ之ヲ附言スルコトトセリ

三五六 八月十六日

太田熊本県知事ヨリ
本野外務大臣宛

氏名詐称渡伯ノ移民熊本県人ニ關シ報告ノ件

保移第八二七号

氏名詐称伯國へ渡航シタル者ニ關スル件報告

県下菊池郡平真城村大字平川二三二四

家長 古 庄 秋 吉

妻 ツ ヨ

長女 チズエ

二女 タカエ

長男 勉

戸主ナジユ 私生児 古 庄 サメ

右家族ハ明治四十五年四月元移民取扱人竹村与右衛門取扱

第三回移民トシテ伯刺西尔國ニ渡航シタルモノニ候処内「サメ」ハ渡航セス同村古庄荒熊長女「ハツエ」ナル者「サメ」ノ名ヲ詐リ渡航シタル件ニ付テハ本年六月二十五日付通送第四六九六号通商局長通牒ニ依リ事実取調候処家長秋吉ハ其当初戸主「ナジユ」私生児「サメ」ニ渡伯ヲ勸メタルモ応セサルヲ以テ家族構成ノ必要上前記古庄荒熊ニ謀リ同人ノ長女「ハツエ」ヲ「サメ」ノ名義ヲ以テ連行スル事トシ「サメ」「ハツエ」兩人ニモ其旨ヲ明カシ決行シタルモノニ付叙上秋吉、サメ、荒熊、ハツエノ所為ハ外国旅券規則第十九条第一号適用処断スヘキモ時効既ニ完成セルヲ以テ刑事訴訟法第六条第六号ニ該当スル事案ト認メ一件記録ハ所轄検事局へ送致候条此段及報告候也

大正六年八月十六日

熊本県知事 太 田 政 弘（印）

外務大臣法学博士子爵 本野一郎殿

三五七

八月二十二日

本野外務大臣ヨリ
在サンパウロ松村総領事宛

氏名詐称渡伯ノ移民福岡県人ニ關スル件

通送第四〇号

福岡県人栗木音吉カ他人ノ氏名ヲ詐称シ渡伯セル件ニ關シ本年三月二十六日付通公第三二二号ヲ以テ御申越ノ次第有之早速ソノ旨福岡県庁へ照会致置候処今回別紙写ノ通り同庁ヨリ回報有之候ニ付為御参考此段申進候也

註 別紙ハ前掲ノ六月二十七日附福岡県知事来信信保移第六七四

三号写ナルニ付省略セリ

三五八 八月二十四日

本野外務大臣ヨリ
在サンパウロ松村総領事宛

氏名詐称渡伯ノ移民熊本県人古庄ハツエニ關

スル件

通送第四四号

本件ニ關シ本年五月八日付通公第六一号ヲ以テ御申越ノ次第有之事実取調方熊本県知事へ照会致置候処今回同知事ヨリ別紙写ノ通り通報有之候条委曲右ニテ御了知相成度此段申進候也

註 別紙ハ前掲ノ八月十六日附熊本県知事来信信保移第八二七号

（三五六文書）写ナルニ付省略セリ

三五九 九月三十日 在伯国烟公使(帰国中)ヨリ
本野外務大臣宛

伯国行移民奨励ノ方針確立並其実施方法ニ関

シ意見上申ノ件

附記 大正七年六月八日附阿部書記官ノ意見

通機密号外

大正六年九月三十日

伯国駐割(帰朝中)

特命全權公使 畑 良 太 郎 (印)

外務大臣子爵 本野一郎殿

対伯移植民奨励ノ方針確立并ニ其実施方法ニ関スル件
本件ニ関シ曩ニ大正三年二月二十一日付通機密第三号拙信
ヲ以テ伯国ハ土地広大ニシテ天賦ノ富源国内ニ普汎セルカ
上ニ人口稀薄ニシテ未墾ノ地多ク且勞力不足ノ為メ企業尚
十分ニ起ラサルヲ以テ現ニ人口過剩ニ困メル我國民ノ海外
發展地トシテ実ニ好適地タリ而シテ世界新開國ノ多クハ近
時本邦人ノ渡航ヲ欲ハス一般ニ排日ノ氣風アルニ反シ現時
ノ伯国ハ甚シク勞力ノ不足ヲ感スル上ニ人種の偏見他ノ諸
國ニ於ケル如ク鋭敏ナラス且政府側ニ於テ諸種ノ恩典ヲ与

ヘテ外國移住民ノ渡来ヲ歡迎スルコトモ他ニ其比ヲ見サル
トコロナルニ付大ニ我移植民ノ渡航ヲ保護奨励シ南米ニ於
ケル大和民族發展ノ素地ヲ樹立スルヲ我對伯移民政策ノ目
的トセラレ度シトノ趣旨ヲ陳述シ併セテ其實行方法ニ関シ
縷々上申致置キタル次第有之候

然ルニ其後幾クモナク歐洲大乱ノ勃發スルアリ之レト前後
シテ「サンパウロ」州政府当局者間ニ排日傾向ノ露出スル
アリ本使等之レカ防遏ニ尽力シタルノ結果并ニ戦乱ノ為メ
歐洲移住民ノ渡来劇減ニヨリ昨年ニ至リ更ニ本邦移民渡航
ノ途開ケ本年ヨリ四ケ年間毎年五千名宛ノ珈琲園労働者ヲ
誘入シ得ルコトナリ最近大阪商船及日本郵船両会社ノ南
米東海岸航路開始ヲ見ルニ至レル等形勢ハ時々變遷シテ休
マサルヲ以テ其實行方法ノ如キハ三年半以前ニ上申シタル
所ヲ其假実行シ難キ事情アルニヨリ多少ノ變換ヲ要スルコ
ト勿論ノ儀ニ有之候ヘ共時宜ニ適スル方法ヲ講シテ本邦移
植民ノ伯國渡航ヲ保護奨励スルヲ最モ必要ト認メ之レカ実
施ヲ冀望スルノ本旨ニ至リテハ本使ノ意見ハ今猶昨ノ如ク
毫モ變スル所無之ノミナラス現戦乱ニヨリテ本邦人ノ為メ
ニ与ヘラレタル空前且ツ恐ラクハ絶後ノ好機會并ニ戦後ニ

於テ免ル可カラサル列國經濟の競争ノ劇甚ニ鑑ミ南米特ニ
伯國ニ於ケル邦人發展策ヲ講スルノ一日モ猶予ス可キニア
ラサルヲ感スルコトハ却テ益切実ヲ加フル次第ニ有之候
就テハ此際成ル可ク速ニ對伯移植民奨励ノ方針ヲ確立セラ
レ之レカ實施方法トシテ差当リ大要左記ノ処置ヲ執ラレン
コトヲ献策致候

一、「サンパウロ」州珈琲移民ノ保護奨励及拡張

「サンパウロ」州珈琲園行移民ハ前記ノ通り本年ヨリ四ケ
年間毎年五千名合計二万人ニ限ラレ居リ候処四ケ年後モ依
然州政府ノ補助ヲ受ケテ引続キ誘入シ得可キヤ否ハ甚疑ハ
シキノミナラス實際勞力需要程度ハ年々数万人ニ上リ殊ニ
「ミナス」州ノ注文モアレハ此際適當ノ方法(耕主ヲシテ
渡航費ノ一部ヲ補助若シクハ貸与セシメテ呼寄移民ヲ誘入
スル新方法ノ開始及後ニ掲クル汽船会社補助ノ方法ニヨリ
渡航船賃ヲ引下クル等)ヲ講シテ少クモ毎年一万人位ハ誘
入セシメ度シト存候然ルニ移民取扱人側ニテハ本年中ニ誘
入ノ義務アル五千名スラ募集ノ困難ヲ訴ヘ居ル趣ニシテ之
レ一ツハ戦乱中本邦ニ於ケル勞銀ノ騰貴ニヨル可シト雖モ
其最大因ハ渡航費トシテ多額ノ金策ヲ要スルニアリト存セ

ラレ候処本使ノ見ルトコロニテハ移民力渡航準備ノ為メ購
フ服裝及携帶品并ニ出發港滞在費等ニ於テ尚多大ノ節約ヲ
ナサシムル余地アルノミナラス更ニ我政府ニ於テ移民奨励
ノ積極的方法ヲ講シ出發港迄ノ汽車ヲ無賃トシ且汽船会社
ニ補助金ヲ与フル對價トシテ渡航費ヲ大人一名百円位ニ引
下ケシムルコトヲ得ハ所謂募集困難ハ其原因ノ大部分ヲ除
去セララル儀ト被存候

二、將來ハ移民取扱人ノ手ニ依ラス漸次自由渡航ニ改ムル
コト

從來屢上申シタル如ク伯國ニ渡航スル歐洲移住民ハ總テ自
由渡航者ニシテ移民会社ナルモノノ手ヲ經ルモノ皆無ナル
モ伯國ニ於ケル外國移住民受収配置ノ機關及設備整頓セル
ヲ以テ何等ノ障害ヲ来タサス本邦移民ハ言語ノ關係上最初
數年間ハ移民取扱人ノ仲介ヲ便トシタルハ勿論ナルモ今後
ハ移民取扱人ニ頼ルノ必要ナシト相信シ候ニ付現協定ニ依
ル四ケ年ノ期限滿了ヲ期トシテ其以後ハ自由渡航ノ方法ニ
依ラシメ度ク之レカ實行方法トシテハ先年上申シタル通り
在伯公使館又ハ「サンパウロ」總領事館ニ於テ起草シ帝國
外務省ノ檢閱ヲ經タル渡伯移住民案内書ヲ各地方庁ニ配附

シテ移民勧誘ヲ行ヒ渡航許可及旅券下附ハ町村長ニ於テ之レヲ取次クコトトシ斯クテ渡航許可証及旅券下附ヲ受ケタル移民ハ伯国行汽船出帆ノ一兩日前出發港ニ到リ乗船スルコトトセハ從來移民取扱人ニ支払ヒタル手数料又県庁所在地へ往復ノ費用等ハ全部節約スルコトヲ得テ移民ノ負担大ニ輕減シ其渡航ヲ容易ナラシムルノ益有之候又伯国到着後ノ通訳及一般ノ世話ニ関シテハ後ニ詳述ス可キ移民官ノ設置迄ハ差向キ総領事館ヲシテ適當ノ処置ヲ執ラシムルコトトセハ夫レニテ事足り可申要スルニ營利ヲ目的トスル移民会社カ利益ヲ得ル丈ケ夫レ丈ケ移民ノ不利益トナル次第ニ付斯クノ如キ制度ハ少ナクトモ伯国移民ニ関スル限リハ無用ト認メラレ候

三、伯国内他ノ地方ニ於テ新移植民地ヲ調査スルコト從來伯国移民ト言ヘハ專ラ「サンパウロ」州珈琲園労働移民ヲ意味シ其後極メテ少数ノ移民ヲ「ミナス」州ニ誘入シタルニ止マリ其他ノ諸州ニ亘リテ邦人移植ノ余地多大ナルニ拘ラス新ニ移植民地ヲ発見開拓スルノ意氣ナキハ誠ニ遺憾ニ有之候ニ付「サンパウロ」州以外例ヘハ「パラナー」「サンタカタリナ」「マツトグロツソ」「ミナス」「エスピ

総領事館ニ置キ専門ニ移植民及農林業ニ関シテ頻々巡回ノ上調査及指導ヲ為サシムル方可然ト被存候而シテ其人撰ニ関シテハ本邦専門家ヲ派遣シテ伯国ノ言語及事情ニ熟セシムル方法ト既ニ伯国ノ言語事情等ニ精通セルモノヲ専門的ニ活動セシムル方法ト二様可有之此等ノ点ハ御裁量次第孰レニテモ宜敷從來農商務省等ヨリ時々官吏ヲ派遣シ種々調査ヲ行ハシメラレタルコト有之候ヘ共數年在勤シテ継続的ニ調査研究スルニアラザレハ到底精確ナル事情ノ報告ヲ期待シ難キコト勿論ニ可有之候

五、本邦資本家ノ伯国視察及投資ヲ勧誘シ且其事業經營上誘入ス可キ移植民ノ渡航自由ヲ保証スルコト

伯国ハ移植民吸收力ノ大ナルニ止マラス農鉱工其他企業ノ余地尚甚裕ナルモノアルハ本信冒頭ニ記載ノ通りニ有之候ニ付本邦汽船ノ直通航路開カレタル今日日本邦資本家ノ伯国視察及其投資ヲ勧誘スルハ頗ル有益ニシテ且ツ最モ機宜ニ適セル処置ト被存候又投資事業ノ範圍ニ就テハ素ヨリ各資本家ノ扱フトコロニ一任ス可キモ就中適當ト思考セラルルハ未墾既墾ノ別ナク土地ノ購入ノ農業經營及本邦人ノ經驗アル工業ニシテ未タ伯国ニ起リ居ラサルモノ等ニ可有之而シ

リトサント」「バイヤ」等ノ諸州ニ於テ本邦人移植ニ適スル地方及方法ヲ調査シ其結果ニヨリ此等方面ニモ本邦人ヲ誘入スルヲ得策ト思考致候尚本項ニ関シテハ本年六月五日付通公第四五号野田臨時代理公使上申ニ係ル「パラナー」及「サンタカタリナ」二州ニ於ケル聯邦政府經營ノ移住地（即チ官設植民地）ヲモ実地ニ就キ詳細ニ調査セシムルヲ利便ト思料致候

四、公使館ニ商工事務官ヲ在「サンパウロ」総領事館ニ移民官ヲ置クコト

本項ニ関シテモ既ニ先年ノ上申中「州設植民地又ハ聯邦政府設置ノ植民地ハ勿論本邦移民ノ就地ニ適スル地方ノ調査研究并ニ有望ナル各種企業ノ取調等ヲナス為メ斯道ノ人ヲ派遣シ其報告ヲ公表シテ渡來希望者ノ参考ニ供スル事、差向キ此種ノ任ニ當ラシムル為メ公使館又ハ領事館ニ専門技師ヲ置ク事」ヲ適當トスル旨記載致置候移植民ノ就地ニ適スル地方ノ調査研究并ニ移植民關係事項ノ外更ニ尚商工業及各種企業ノ取調等ニ至ル迄悉ク一人ニテ完全ニ之レヲ為シ得ル専門ノ適任者ハ到底得難カル可キヲ以テ商工事務官ヲ公使館ニ置キ農林業及移植民關係ニ對シテハ移民官ヲ

テ既墾地ヲ買入ルル場合ニハ更ニ之ヲ經營ス可キ資本ト適任人物ヲ要ス可キモ未墾地ノ購入ハ必スシモ直チニ之レカ開墾ヲ要セス數年乃至十數年後ニ至リ地価二三倍若シクハ其以上ニ騰貴スルヲ俟ツテ之レヲ手放スモ或ハ適當ノ時機ニ之ヲ開拓利用スルモ随意ニシテ戰後伯国ニ於ケル地価ハ著シク騰貴ス可ク一般ニ予期セラレ居ルヲ以テ其確實有利ナル投資タルコトハ何人モ疑ヲ容レサル所ニ有之候本邦ハ労働者以外ノ人間ヲ産セサル劣等國ナルカノ如ク誤解セラるルコトハ軀テ排日問題ノ起ル基ナルヲ以テ伯国ニ於テ其極メテ自由ナル法律ヲ利用シ資力ノ許ス限リ本邦人所有地ヲ廣大ナラシムルコトハ本邦人ノ勢力扶植上最モ鞏固ナル基礎ヲ築ク所以ニシテ本邦人ノ大地主カ自己所有ノ農場ニ多數ノ本邦農民ヲ使用スルニ至リテ茲ニ初メテ完全ナル意義ニ置ケル本邦人ノ独立的移植民事業行ハルルニ至リタルモノト被存候然リ而シテ本邦資本家カ伯国ニ投資シテ事業ヲ經營セントスル場合ニハ本邦人ヲ使用スルモノトシテ計畫ヲ立ツルコトアル可ク從テ事業開始後中途ニシテ我政府ヨリ本邦人ノ渡航ヲ禁止若シクハ制限セラルル虞アルニ於テハ投資ニ躊躇ス可キハ勿論ナルヲ以テ伯国ニ於テ本邦資

本家カ其經營事業ニ使用スル本邦労働者ノ渡航ニ對シテハ我政府ニ於テ十分便宜ヲ図ルノ方針ナルコトヲ公然且明白ニ保障スルノ必要アリト被存候尚本邦資本家ノ土地購入及事業經營ハ同時ニ伯國ニ於ケル本邦移民ノ渡航數ヲ増加セシメ以テ資本及勞力ノ両面ヨリ本邦人ノ勢力ヲ増殖スル所以ニ有之候

六、日伯通航汽船ニ補助金ヲ下附シ其条件トシテ移住民ノ渡航船賃ヲ著シク引下ケシムルコト

本邦及南米東海岸諸國間ノ貿易及当方面ニ於ケル本邦移植民事業ヲ發達セシムル為メ之ヲ連絡スル定期航路ニ對シ最初若干年間補助金ヲ下附相成度件ニ關シテハ既ニ客年八月廿日付通機密第一〇号拙信ヲ以テ前任石井大臣宛續々上申シタル次第有之其後大阪商船会社ニ於テ愈三ヶ月一回ノ定期航路ヲ開始シ目下戰時特殊ノ事情モアリテ例令補助金ナクトモ貨物輸送ノ方ハ略ボ収支相償フノ好況ナルヤニ承知致居候ヘ共移民大人一名二百円ノ船賃ハ出稼セントスル農民ニ取リテハ甚高キニ失シ結局真ニ労働ニ適スル下級農民ハ渡伯スルコト能ハスシテ唯船賃ヲ調達シ得ル中流者ノミ渡航スルコトヲ得ル次第ニシテ移民奨励ノ本旨ニ叶ハサル

キ到底其運ビニ至リ難カル可シト思考被致候ニ付先ツ其階梯トシテ前記ノ立案ヲ為シタルモ一課ノ設置ヲ以テ今後永ク本邦移植民事業ノ進運ニ伴ハシムル能ハサル可シト被存候ニ付此際直チニ移植民局設置ノ御取計ヲ仰クヲ得ハ一層好都合ニ可有之候

右夫々御詮議ヲ仰キ度卑見上申ニ及ヒ候 敬具

(附記)

畑公使ノ意見ニ關スル阿部書記官ノ意見

大正七年六月八日

通商局第二課 阿部書記官 (印)

對伯移植民奨励ノ方針確立並ニ其實施方法ニ關スル畑公使ノ建議ニ對スル小官ノ意見ヲ開陳セハ

第一「サンパウロ」州珈琲移民ノ保護奨励及拡張

伯國渡航移民ヲ毎年壹万人位迄誘入ス可キ方法ノ一トシテ呼寄移民ヲ多數送出スル公使ノ發案ハ大ニ可ナリ呼寄移民ハ渡航地ニ於テ確實ナル需要口定マリアルモノナレハ何等ノ顧慮ナク之カ送出ヲ決行スルヲ得ヘシ而シテ呼寄移民ヲ可成多數出ス為メニハ從來ノ如キ親族關係アルモノニ限り呼寄スルヲ得ト云フ渡航許可制限ヲ撤廃セサルヘカラス

義ト存セラレ候併シ乍ラ我政府ニ於テ海外渡航移民ノ旅費ヲ補助スルコトハ對外政策上面白カラサル影響ヲ生スルノ不便アルヲ得テ航路補助ノ名義ヲ以テ支給シ其代リ移住民ノ渡航船賃ヲ百円内外ト定メ其以上ヲ徴収セシメサル内約ヲ結ハシムルニ於テハ移植民奨励ト航路補助トヲ兼テ行フコトト相成リ所謂一挙兩得ノ策ニ可有之ト被存候

七、本省ニ移植民課ヲ特設スルコト

先年通商局ヲ三課ニ分チ第三課ニ於テ移民及旅券ニ關スル事務ヲ分掌セシメラレタルモ其後之レヲ第二課ニ合併相成リ以テ今日ニ至リ候処右ハ本邦移植民事業ノ發展ニ伴ハサルモノト思考被致候ニ付特ニ移植民課設置ノ御詮議アランコトヲ希望致候万一官制改正其他ノ都合ニヨリ早急実行困難ナル場合ニハ現在ノ第二課員中若干名ヲシテ専ラ移植民事務ヲ担任セシメ而シテ從來ノ如ク其主任官カ漸ク事務上ノ智識ト經驗トヲ得タル頃之レヲ他ニ転勤セシムルカ如キコトハ之レヲ避ケ移植民課長若シクハ其主任官ヲシテ内外ニ於ケル移植民事務ニ關シテ十分ノ智識經驗并ニ興味ヲ有セシムル様企図セラレ度候元來本使ハ移植民事務ノ為メ別ニ一局ヲ本省ニ設置ノ理想ヲ有スルモノニ有之候ヘ共差向

畑公使ハ伯刺西尔移民組合ニ於テ本年中ニ誘入スヘキ義務アル五千名ノ募集ニ困難セル最大原因ヲ一ニ多額ノ渡航費ヲ要スル為メト断セラレシモ小官ノ見解ハ然ラス其主ナル原因ハ夫婦ヲ中心トセル可適労働者三人ヨリ構成セル家族ニ非ザレハ応募資格ナシト云フ至テ窮屈ナル条件アルカ為メト認ム素ヨリ伯國行移民ノ費ス渡航費ヲ輕減スル手段ヲ執ルニ於テ渡航者數ヲ増スニ効果ナシトハ言ハサルモ家族構成条件ヲ更改スルニ由リテ奏スル効果トハ到底比較シ得ヘキモノニアラサルヘシ故ニ小官ノ意見トシテハ先ツ第一ニ家族構成条件ノ改正ニ努力シ併セテ渡航費ノ輕減ヲ策セラレンコトヲ希望ス、斯クシテ近キ将来ニ五万人以上ノ移民ヲ輸送シ置カハ本邦労働者ハ彼地労働界ノ一勢力ヲナシ此処ニ抜クヘカラサル地步ヲ占ムルニ於テハ他日邦人排斥問題起ルモ恐ルルニハ足ラサルヘシ斯ク考フルトキハ此際一ト息ニ多數ノ純良労働者ヲ渡航セシムルヲ得策ナリト信ス

第二將來ハ移民取扱人ノ手ニ依ラズ漸次自由渡航ニ改ムル

コト

本項ニ關スル畑公使ノ意見ハ一個ノ理想トシテ傾聴ノ価値

アリト認ムルモ我移民ノ状態未タ移民取扱人ノ手ヲ放ス迄ニ至リ居ラサルモノト認ム

第三伯国内他ノ地方ニ於テ新移植民地ヲ調査スルコト

右計画ハ移民多数送出上必要ナルハ勿論ノ義ニツキ具体的ニ実行方法ヲ画策セラレンコトヲ望ム

第四公使館ニ商工事務官ヲ在「サンパウロ」総領事館ニ移民官ヲ置クコト

本項ニ関スル畑公使ノ献策ハ速カニ実行セラレンコトヲ望ム

第五本邦資本案ノ伯国視察及投資ヲ勧誘シ且ツ其事業經營上誘入スヘキ移植民ノ渡航自由ヲ保証スルコト

本項ニ関スル畑公使ノ意見ニ對シテハ素ヨリ異論ナキ所ナリ

第六日伯通航汽船ニ補助金ヲ下付シ其条件トシテ移住民ノ渡航船賃ヲ著シク引下ケシムルコト

伯国移民ノ渡航ヲ容易ナラシムル上ニ於テ最モ適切ナル方法ト認ム伊太利、西班牙等ノ如キ近距離ヨリ流入スル移民ト拮抗セントスルニハ是非共此方法ニ依ラサルヘカラス

第七本省ニ移植民課ヲ特設スルコト

移植民事業ノ發展ヲ期スル上ニ於テ移植民課ヲ特設スルノ必要ナルハ論ヲ待タス曩ニハ通商局第三課トシテ移民及旅

券事務ノ為特ニ一課ノ設ケアリシモ現在ハ通商局第二課所管事務ノ一部タルニ過キサルモ其ノ實際ノ事務ヲ考查スル

ニ実ニ旅券下付処分ニ関スル各地方長官ヨリノ協議件数ノミニテモ大正六年度一ケ年ニ約六千八百件ニ上リ平均一

日二十二件ヲ取扱フコトナリ而モ此協議ナルモノハ迅速処分セサルヘカラス尚ホ此協議ニ附随シテ起ル種々ノ事務

アリ目今移民係ハ文書発送数ノ多キコトニ於テ省内第一位ニ在リ然ルニ此協議事務ハ全ク渡航者制限ノ必要ヨリ生セ

シ取締ニ過キサルモノニシテ海外發展ニ関スル移植民ノ事務トハ其帰趨ヲ異ニセリ現在ノ掛員丈ケニテハ斯カル取締

事務ノ執掌ニ全力ヲ竭シテ余ス所ナキニヨリ真ノ移植民事務ノ如キ研究ト熟慮ヲ要スヘキモノニ傾注スヘキ力ノ足ラ

(以上)

三六〇 十月五日 中村通商局長ヨリ
沖繩県知事宛

サンパウロ州呼寄移民ニ関シ沖繩県島尻郡具

志川村長へ注意方ノ件

通送第六七九九号

本件ニ関シ別紙写ノ通り在サンパウロ松村総領事ヨリ申越ノ次第有之候ニ付右玆ニ及御送付候条委細別紙^(註)ニテ御了承ノ上可然御取計相成度此段申進候也

註 別紙在サンパウロ松村総領事來信八月十二日附通公第九二号ハ前掲三五四文書

三六一 十月九日 中村通商局長ヨリ
太田熊本県知事宛

氏名詐称渡伯ノ移民熊本県人山下只七ニ関ス

ル件

通送第六八四二号

熊本県天草郡坂瀬川村二十八番地

家長 山下 定 八
明治十九年十二月十三日生
妻 トモヨ
弟 宗 一

明治二十六年三月三十日生

右家族ハ明治四十五年四月元移民取扱人竹村与右衛門取扱第三回移民トシテ伯刺西爾ニ渡航シタル処其実宗一ハ渡航

セス其弟只七同人ノ名義ヲ詐リ渡伯シタル趣ニテ同人ハ明年徴兵適齡ニ相当シ猶予出願ノ必要ニ迫マラレ自白スルニ至リタル趣ヲ以テ在サンパウロ松村総領事ヨリ当省へ報告有之候ニ付右事實御取調ノ上相当御処分相成其結果御報告相成度此段申進候也

追而山下定八ヨリ差出シタル上申書添付及御送付候ニ付御用済ノ上ハ御返戻相成度候

三六二 十一月六日 外務省通商局ヨリ
持田小学校訓導宛

在伯国本邦移民子弟ノ教育状況問合ニ對シ回

答ノ件

通送第九六三号

客月廿九日付ヲ以テ在伯国本邦移民子弟教育現状ニ関シ照会相成候处在伯国本邦人総數ハ約一万八千人ナルモノ多クハ同国サンパウロ州内各地ノ珈琲園労働ニ従事スルモノニシテソノ子弟教育ニ関シテハ何等完備セル機関ノ設備ナク畜土地ノ情況ニヨリテ或者ハソノ地ノ小学校ニ通学スルモノアルモソノ他ハ皆寺小屋式ノ教育ヲ受クルニ過キズ醜テ都市ニ在留スル子弟ニ付テモ耕地労働者子弟ト大同小

異ノ現況ニ有之候へ共彼地本邦子弟教育問題ハ右様ノ始末ニテ之ガ著書等モ絶無ノ状態ニ有之候此段及回答候也

註 右ハ埼玉県深谷女子小学校訓導持田清吉ヨリノ問合ニ対スル回答ナリ

三六三 十一月十日 鈴木沖繩県知事ヨリ
本野外務大臣宛

沖繩県ニ於ケル伯国行移民募集措置改善ニ関スル件

保外親第一二二二号 (十一月十六日接受)
大正六年十一月十日

沖繩県知事 鈴木 邦 義 (印)
外務大臣法学博士子爵 本野一郎殿

本県ハ土地狭少交通不便ニシテ土地ノ生産力薄キニモ係ラス人口稠密ニシテ県内ニ於テ發展ノ余地少キヲ以テ夙ニ海外移民ノ必要ヲ認メ之レガ奨励指導ノ方針ヲ採リ居リ候然ルニ伯刺西爾移民ハ先年募集ノ移民ノ成績不良ノ故ヲ以テ本県ニ於テハ募集中止ト相成頗ル遺憾トスルトコロニ有之候処本年ニ至リ本県ニ於テモ其ノ募集ヲ認可セラレ候ニ付テハ先年ノ不成績ニ鑑ミ募集当事者ヲシテ移民ノ撰択ニ注

意セシムルハ勿論出願者ノ身元調査ヲ特ニ厳密ニシ農事ノ經驗乏シキ者其ノ他素行疑シト認ムル者ニ対シテハ仮借ナク不許可ノ方針ヲ取り且ツ便宜ノ手段トシテ出願者ヲシテ保証人ト共ニ警察官署ニ出頭セシメ渡航後ニ於テハ素行ヲ謹ミ稼業ニ精勵シテ契約事項ヲ遵守シ本県移民ノ信用ヲ毀クルガ如キコトナキヲ宣誓セシメ尚ホ先年渡航ノ本県移民ノ不成績ハ種々ナル原因アルヘキモ要スルニ契約事項ヲ熟知セス徒ニ募集員ノ甘言ニ乗セラレ渡航シタルニ予期ノ収益ヲ享クルコト能ハス自暴自棄ノ結果遂ニ逃亡スルニ至リタルモノト思考セラレ候ニ付契約事項ヲ熟知セシムルヲ尤モ緊要ト認メ其ノ方法トシテ出願者ヲ警察官署ニ召喚シ各人毎ニ左記事項ニ干シ一々之ヲ試問シ明答ヲ為シ得タル者ニ対シ始メテ渡航ヲ許可スルコトトシ以テ契約事項ノ徹底ニ努メ又当地出發ノ際ハ一定ノ場所ニ集合セシメ主任官ヲシテ渡航後ノ心得等懇篤訓諭セシムル等最善ノ力ヲ尽シツツアリ本年三月以降契約移民トシテ同国ニ渡航シタル者已ニ千七百名余ニ達シ尚ホ多数ノ希望者アルノ実況ニ有之候右御参考迄及報告候也

左記

一 家族干係 (契約書第三条)

一 取扱人カ移民一人ニ対シ日本乗船ヨリ「ブラジル」国ニ至ル渡航費立替額并弁償方法 (同上第六条)

一 契約期限 (同上第九条)

一 労働ノ種類 (同上第十条)

一 移民ノ賃金 (同上第十一条)

一 会社ニ対スル誓約事項 (同上第十七条)

註 右ノ写ハ十一月二十一日附本野外務大臣宛在サンパウロ松村総領事宛通送第六〇号ヲ以テ参考ノ為送付セラレタリ

三六四 十一月十日 鈴木沖繩県知事ヨリ
中村通商局長宛

伯国ニ於ケル沖繩県移民ノ成績調査方依頼ノ件

保外親第一二二二号 (十一月十六日接受)
大正六年十一月十日

沖繩県知事 鈴木 邦 義 (印)
外務省通商局長 中村巍殿

本県ニ於ケル伯刺西爾移民募集ノ状況ハ本日保外親第一二二二号ヲ以テ報告致置候通りニシテ優良移民ノ撰択ニ就テ一〇「ブラジル」移民関係雜纂 三六四 三六五 三六六

三六五 十一月二十一日 本野外務大臣ヨリ
在サンパウロ松村総領事宛

伯国ニ於ケル沖繩県移民ノ成績調査方ノ件
通送第五九号

沖繩県移民ニシテ伯国渡航後ニ於ケル状況承知致度キ趣ヲ以テ別紙写ノ通り沖繩県知事照会ノ次第有之候条同県移民ノ成績ニ付テハ特ニ注意ヲ要スベキ事情有之候ニ付右状況御取調ノ上何分ノ義御回報相成度別紙相添此段申進候也
註 別紙ハ前掲ノ十一月十日附沖繩県知事来信保外親第一二二二二号写ナリ省略ス

三六六 十二月十二日 太田熊本県知事ヨリ
本野外務大臣宛

氏名詐称渡伯ノ移民熊本県人山下只七ニ関シ
報告ノ件

保移乙第一二四三号 (十二月十七日接受)
県下天草郡坂瀬川村二十八番地

家長 山下 定八
妻 トモヨ
弟 宗一

右伯國渡航ノ件ニ関シ本年十月九日付通送第六八四二号通商局長通牒ニ本ツキ取調候処右家族ハ明治四十五年四月元移民取扱人竹村与右衛門取扱第三回移民トシテ伯刺西爾國渡航出発ニ際シ右宗一ハ宿痼タル胃病俄ニ発シ到底渡航覺束ナキヲ以テ家長定八ト協議ノ上其渡航ヲ中止シ弟只七ヲシテ宗一ト詐称セシメ渡航シタルモノニ有之犯跡確証ヲ得事件ハ所轄検事局ヘ送致候処本月三日不起訴処分ト相成候条顛末ヲ叙シ山下定八兄弟連署ニ係ル別紙上申書相添ヘ此段及報告候也

大正六年十二月十二日

熊本県知事 太田 政弘 (印)
外務大臣法学博士子爵 本野一郎殿

三六七 十二月二十八日 本野外務大臣ヨリ
在サンパウロ松村総領事宛
氏名詐称渡伯ノ移民熊本県人山下只七ニ関スル件

通送第六七号

本件ニ関シ本年八月二日付通公第八八号ヲ以テ御申越ノ次第有之候ニ付ソノ旨関係官庁ヘ照会致置候処今回別紙写ノ通り同庁ヨリ回報有之候ニ付右様御承知ノ上可然御取計相成度此段申進候也

註 別紙ハ前掲ノ十二月十二日附熊本県知事來信保移乙第一二四三号写ナリ省略ス

事項一一 墨国ニ於テ本邦漁業会社所属船舶抑留關係一件

三六八 一月十三日 在ロスアンゼルス大山領事ヨリ
本野外務大臣宛

在加州近藤政治経営ノ漁業会社所属船垂細亜
号拿捕事件ニ関シ在墨国太田臨時代理公使ヘ
ノ回報写送附ノ件

附屬書 一月十一日大山領事發在墨国太田臨時代理公

使宛墨公第一号写

公第八号 (二月五日接受)

大正六年一月十三日

在ロスアンゼルス領事 大山 卯次郎 (印)

外務大臣法学博士子爵 本野一郎殿

本件ニ関シ在墨国太田臨時代理公使ヨリ客月拾九日附羅領公第一一号ヲ以テ照会越候ニ付本月十一日附公第壹号拙信ヲ以テ回答致置候間御参考ノ為玆ニ該写差進候 敬具

追テ太田代理公使発羅領公第一一号写ハ同官ヨリ閣下ヘ提出済ノ趣ニ付添附ヲ省略致候

註 本件ニ付テハ日本外交文書大正五年第一冊四二七文書参照

一一 墨国ニ於テ本邦漁業会社所属船舶抑留關係一件 三六八

(附屬書)

一月十一日大山領事發在墨国太田臨時代理公使宛公信寫

墨公第壹號

大正六年一月十一日

在ロスアンゼルス領事 大山 卯次郎

在墨国臨時代理公使 太田爲吉殿

在「サンデーゴ」「エム、ケー」漁業會社船「アジ

ヤ」號ガ墨國下加州沿岸ニ於テ拿捕セラレタル件
本件ニ關シ客月拾九日付羅領公第一一號ヲ以テ御申越之趣敬承致候右ニ對シテハ豫テ本人ニ對シ説明ノ爲當館ニ出頭ヲ求メ置候處同人ハ客年ヨリ引續キ墨國ニ赴キ目下「マサトラン」ヨリ「ガイマス」方面ニ向ヒ旅行中ニテ來ル貳拾日頃ナラデハ「サンデーゴ」ニ帰還セザル趣ニ有之候處今回報問合ノ次第モ有之候間假ニ代理人ノ出頭ヲ命シ候結果中村四郎ナル者同會社員ニハ非ザルモ近藤トノ事業關係上割合ニ本件ノ内情ヲ承知セル趣ニテ同人當館ヘ出頭致候間